

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

笹山 益子 青海 邦子

1 はじめに

近年、大学・短大への進学率の増加により高学歴社会は一段と進んでおり、なかでも女子の進学率の増加、昭和61年4月に施行された男女雇用機会均等法の影響で女性の社会進出が著しく、男女の社会的平等観への世論が高まっている。

このような状況のなかでとくに若年層の服装について見ると、現在は伝統的な衣服に対して、ユニセックスなデザインによる衣服、例えば、女っぽいデザインによる男性衣服や、男っぽいデザインの女性衣服が増加している。

本研究では、短期大学生を対象に性役割志向性尺度¹⁾ (ISRO) と女性に対する態度尺度²⁾ (ATW) の心理尺度テストと被服の嗜好と着用に関するアンケート調査(被服に対する意識と行動)を併せて実施し、現代の短期大学生が社会的平等観(政治的、経済的)や男女平等観の強い進歩的な考え方を持っているか、または、保守的で伝統的(古風)な考え方であるのかを心理的側面から分析・検討しようとするものである。これらの因果関係を把握するためにアンケート調査を実施し、相互の関連性について検討を試みたので報告する。

2 調査の概要と目的

2・1 調査の対象者

女子短期大学服飾学科学生。有効数329名。

2・2 調査の時期

1988年6月27日～7月9日

2・3 調査の方法

心理的スケールについては質問紙の配布による集合調査を行い、被服に対する意識と行動に関する調査では被験者に一部写真を提示し、同様に集合調査を実施した。

2・4 調査の内容

{1}心理調査として、a. 性役割志向性尺度(以下ISROと略記する)とb. 女性に対する態度尺度(以下ATWと略記する)の両者において尺度を調査した。各コード表³⁾(表1・表2)により点数化し、個人得点の総合点を算出し、平均値、標準偏差値を求めた。

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

表1 ISROの採点コード

設問項目	非常に賛成 A	やや賛成 B	どちらでもない C	やや反対 D	非常に反対 E
Q11	1	2	3	4	5
Q12	1	2	3	4	5
Q13	1	2	3	4	5
Q14	5	4	3	2	1
Q15	1	2	3	4	5
Q16	5	4	3	2	1
Q17	1	2	3	4	5
Q18	5	4	3	2	1
Q19	1	2	3	4	5
Q110	5	4	3	2	1
Q111	1	2	3	4	5
Q112	1	2	3	4	5
Q113	5	4	3	2	1
Q114	5	4	3	2	1
Q115	1	2	3	4	5
Q116	1	2	3	4	5

表2 ATWの採点コード

設問項目	非常に賛成 A	やや賛成 B	やや反対 C	非常に反対 D
Q117	0	1	2	3
Q118	3	2	1	0
Q119	3	2	1	0
Q120	3	2	1	0
Q121	0	1	2	3
Q122	3	2	1	0
Q123	0	1	2	3
Q124	0	1	2	3
Q125	0	1	2	3
Q126	3	2	1	0
Q127	3	2	1	0
Q128	0	1	2	3
Q129	0	1	2	3
Q130	3	2	1	0
Q131	0	1	2	3

〔2〕被服に対する意識と行動に関する調査として、次の3つの項目の尺度を設定した。

- a. 被服に対する一般的な意識に関する項目と、b. 被服に対する着装行動に関する項目
および、c. 被服に対する流行に関する項目

つぎに、被験者各人のスタイル嗜好度をスタイル写真(図1~3)を雑誌より抽出して⁴⁾用いて、スポーティ、ドレスシー、カジュアルのカラー写真を被験者に提示して、好きなスタイルを選択させた。

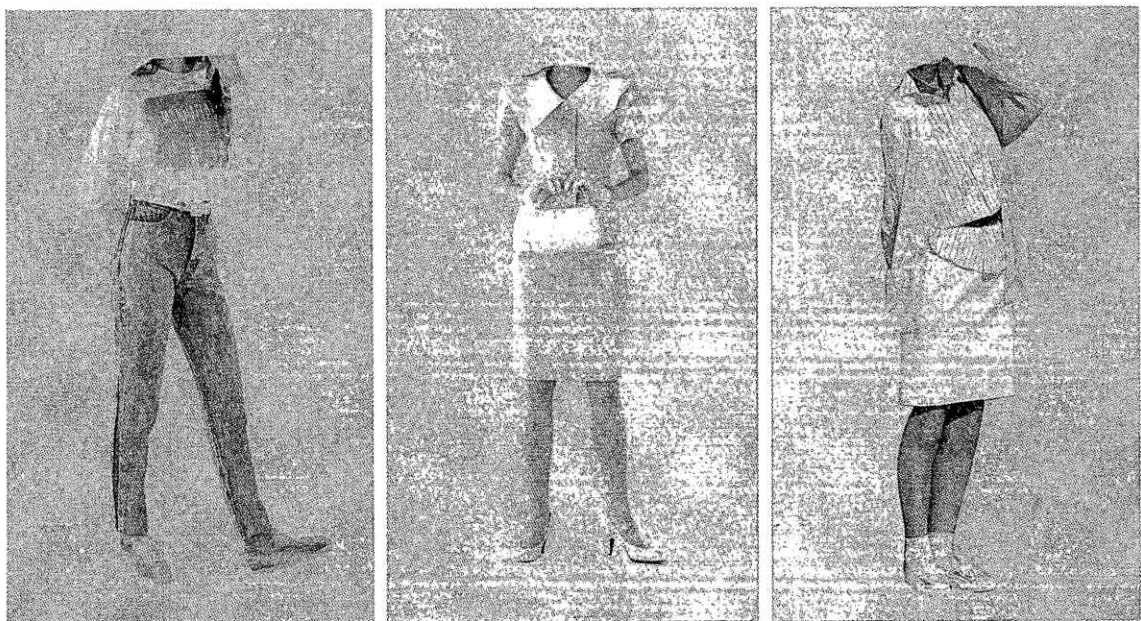


図1 スタイル写真 1

2

3

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

つづいて、ふり袖の嗜好度と選択した理由を6種類のふり袖の着装のカラー写真（その内容表3に示す）を雑誌より抽出して用い、被験者に提示して、着てみたいと思うふり袖を選択させた。

表3 ふり袖の説明

1	和洋折衷ふうでハイヒールを履き地色は多色
2	御所車の古典柄で地色は黒色
3	花柄総しぼりで地色は黄色系
4	大正ロマン風で半衿にはししゅうをあしらひ地色は茶色系で金色
5	御所車の古典柄で地色は朱色系で金色をあしらっている
6	橘の古典柄で地色は鶯（とき）色

次いで、そのふり袖の選んだ理由を1つ選択させた。

2・5 計算とデータ処理の方法

全項目において、単純集計を行った後、心理調査の場合には各コード表により、点数化し総合得点を算出した。

つぎに、ISRO、ATWテストの得点を次のように分類し、被服嗜好度や意識行動との関連性を見るために、カイ2乗（ χ^2 ）検定や相関比、順位相関係数などの統計処理により検計を行った。なお統計処理には、京都大学大型計算機センターのFACOM M780-20システムを利用して行った。

3 結果および考察

3・1 心理調査の結果

（1）性役割志向性尺度（ISRO）について

（a）単純集計

性役割志向性尺度の各項目の単純集計結果は、表4に示す通りである。

性役割志向性尺度（ISRO）を作成したDreyerらは、ISROで測定された性役割志向性には、次の3因子が包含されているとみる。

因子1. 家庭内労働における男女の役割

因子2. 育児・キャリアの葛藤

因子3. 家庭外労働にかかわる性役割

いま、因子1の負荷量が高い項目をQ17「特別なケースを除き、妻が料理や掃除をやり、夫が家族のために金を稼いでくるべきだ」、Q19「女性は家にいて、子供の世話をしている方がずっと幸福である」、Q113「私は、夫が家庭内の雑用をうけもち、妻が家計をまかなくてもいいと思う」、Q115「私は、妻に働かせて自分は家で子どもの世話をするような男性を尊敬することはできない」と考えれば、本学学生の場合、賛成しているのは、Q17「特

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

別なケースを除き、妻が料理や掃除をやり、夫が家族のために金を稼いでくるべきだ」が47.4%（非常に賛成とやや賛成とを合わせると）であり、Q115「私は、妻に働かせて自分は家で子どもの世話をするような男性を尊敬することはできない」は46.4%である。

夫は外で仕事をして、妻は家庭で家事をすればよいと考えている者が約半数いることがわかる。

次に、因子2の項目をQ12「女性がキャリアを求めるならば、大方の女性は子どもを持つべきではない」、Q13「母親が働いていると、就学前の児童には害のおよぶことがある」、Q15「子どもを産むことが女性の証しである」、Q16「キャリアを求める女性にとって、出産や育児がその障害となることがあってはならない」、Q110「働く母親でも、働いていない母親と全く同じように、子どもとの間にあたたかな安定した関係を確立することはできる」、Q111「女性は自分のキャリアを考えるよりも、まず育児と家事を自分の仕事であると心得るべきである」と考えるならば、Q12「女性がキャリアを求めるならば、大方の女性は子どもを持つべきではない」を除き、各項目に対する賛成意見はQ13「母親が働いていると、就学前の児童には害のおよぶことがある」が51.0%、Q15「子どもを産むことが女性の証しである」(49.2%)、Q16「キャリアを求める女性にとって、出産や育児がその障害となることがあってはならない」(51.1%)、Q110「働く母親でも、働いていない母親と全く同じように、子どもとの間にあたたかな安定した関係を確立することはできる」(68.7%)、Q111「女性は自分のキャリアを考えるよりも、まず育児と家事を自分の仕事であると心得るべきである」(50.8%)で、特に、Q110「働く母親でも、働いていない母親と全く同じように、子どもとの間にあたたかな安定した関係を確立することはできる」においては賛成が68.7%と高率であった。

キャリア・ウーマンになって、子供を産み育てたいと願っている学生の姿が浮かび上る。

その一方で、自分のキャリアよりも育児と家事を重要視している者も50.7%おり、女性にとって仕事（キャリア）と育児・家事の葛藤は常につきまとい、問題は多いと思われる。

さらに、因子3の項目をQ11「女性は家庭の管理にあたるべきであり、国家の管理運営は男性に任せておくべきだ」、Q14「仕事を持つということは、自分自身の人生を生きているということだ」、Q18「女性にも男性と全く等しい雇用の機会が与えられるべきである」、Q112「重要な仕事を数々抱えていても、やはり女性の本来いるべき場所は家庭なのである」、Q114「男でも女でも、同じ仕事に対しては同じ賃金（報酬）が支払われるべきだ」、Q116「肉体的な重労働が女性に向かないように、精神的、感情的特質ゆえに女性に向かない仕事もいろいろあるということ、女性自身が自覚すべきである」と考えれば、Q11「女性は家庭の管理にあたるべきであり、国家の管理運営は男性に任せておくべきだ」を除き、賛成意見を持つ者は、Q14「仕事を持つということは、自分自身の人生を生きているということだ」で58.4%、Q112「重要な仕事を数々抱えていても、やはり女性の本来

いるべき場所は家庭なのである」（58.4%）、特にQ18「女性にも男性と全く等しい雇用の機会が与えられるべきである」（77.2%）やQ114「男でも女でも、同じ仕事に対しては同じ賃金（報酬）が支払われるべきだ」（89.1%）、Q116「肉体的な重労働が女性に向かないように、精神的、感情的特質ゆえに女性に向かない仕事もいろいろあるということ、女性自身が自覚すべきである」（72.7%）は高率を示している。

人生にとって、仕事は生きがいであり、男女等しく雇用の機会が与えられ、同賃金を支払われるべきであると思っている者が約90%である。

しかし、重要な仕事をして、約半数の者は女性のいるべき場所は家庭であると思っているのがわかる。

表4 性役割志向性尺度（ISRO）

設問項目	カテゴリー	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
Q11. 女性は家庭の管理にあたるべきであり、 国家の管理運営は男性に任せておくべきだ。	非常に賛成	1	4	1.2	4	1.2
	やや賛成	2	56	17.0	60	18.2
	どちらでもない	3	116	35.3	176	53.5
	やや反対	4	118	35.9	294	89.4
	非常に反対	5	35	10.6	329	100.0
Q12. 女性がキャリアを求めるならば、大方 の女性は子どもを持つべきではない。	非常に賛成	1	9	2.7	9	2.7
	やや賛成	2	48	14.6	57	17.3
	どちらでもない	3	90	27.4	147	44.7
	やや反対	4	130	39.5	277	84.2
	非常に反対	5	52	15.8	329	100.0
Q13. 母親が働いていると、就学前の児童に は害のおよぶことがある。	非常に賛成	1	30	9.1	30	9.1
	やや賛成	2	138	41.9	168	51.1
	どちらでもない	3	95	28.9	263	79.9
	やや反対	4	39	11.9	302	91.8
	非常に反対	5	27	8.2	329	100.0
Q14. 仕事を持つということは、自分自身の 人生を生きているということだ。	非常に賛成	1	66	20.1	66	20.1
	やや賛成	2	126	38.3	192	58.4
	どちらでもない	3	109	33.1	301	91.5
	やや反対	4	21	6.4	322	97.9
	非常に反対	5	7	2.1	329	100.0
Q15. 子どもを生むことが女性の証である。	非常に賛成	1	62	18.8	62	18.8
	やや賛成	2	100	30.4	162	49.2
	どちらでもない	3	112	34.0	274	83.3
	やや反対	4	37	11.2	311	94.5
	非常に反対	5	18	5.5	329	100.0
Q16. キャリアを求める女性にとって、出産 や育児がその障害となることがあって はならない。	非常に賛成	1	58	17.6	58	17.6
	やや賛成	2	110	33.4	168	51.1
	どちらでもない	3	95	28.9	263	79.9
	やや反対	4	57	17.3	320	97.3
	非常に反対	5	9	2.7	329	100.0
Q17. 特別なケースを除き、妻が料理や掃除 をやり、夫が家族のために金を稼いで くるべきだ。	非常に賛成	1	49	14.9	49	14.9
	やや賛成	2	107	32.5	156	47.4
	どちらでもない	3	84	25.5	240	72.9
	やや反対	4	71	21.6	311	94.5
	非常に反対	5	18	5.5	329	100.0

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

表4 性役割志向性尺度 (ISRO)

設問項目	カテゴリー	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
Q18. 女性にも男性と全く等しい雇用の機会が与えられるべきである。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	非常に賛成	1	123	37.4	124	37.7
	やや賛成	2	131	39.8	255	77.5
	どちらでもない	3	56	17.0	311	94.5
	やや反対	4	15	4.6	326	99.1
	非常に反対	5	3	0.9	329	100.0
Q19. 女性は家において、子どもの世話をしている方がずっと幸福である。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	非常に賛成	1	28	8.5	29	8.8
	やや賛成	2	64	19.5	93	28.3
	どちらでもない	3	125	38.0	218	66.3
	やや反対	4	81	24.6	299	90.9
	非常に反対	5	30	9.1	329	100.0
Q110. 働く母親でも、働いていない母親と全く同じように、子どもとの間にあなたかな安定した関係を確立することはできる。	非常に賛成	1	103	31.3	103	31.3
	やや賛成	2	123	37.4	226	68.7
	どちらでもない	3	48	14.6	274	83.3
	やや反対	4	45	13.7	319	97.0
	非常に反対	5	10	3.0	329	100.0
	Q111. 女性は自分のキャリアを考えるよりも、まず育児と家事を自分の仕事であると心得るべきである。	非常に賛成	1	55	16.7	55
やや賛成		2	112	34.0	167	50.8
どちらでもない		3	94	28.6	261	79.3
やや反対		4	60	18.2	321	97.6
非常に反対		5	8	2.4	329	100.0
Q112. 重要な仕事を数々抱えていても、やはり女性の本来のいるべき場所は家庭なのである。		非常に賛成	1	69	21.0	69
	やや賛成	2	123	37.4	192	58.4
	どちらでもない	3	84	25.5	276	83.9
	やや反対	4	44	13.4	320	97.3
	非常に反対	5	9	2.7	329	100.0
	Q113. 私は、夫が家庭内の雑用をうけもち、妻が家計をまかなってもいいと思う。	非常に賛成	1	31	9.4	31
やや賛成		2	91	27.7	122	37.1
どちらでもない		3	99	30.1	221	67.2
やや反対		4	81	24.6	302	91.8
非常に反対		5	27	8.2	329	100.0
Q114. 男でも女でも、同じ仕事に対しては同じ賃金(報酬)が支払われるべきだ。		非常に賛成	1	227	69.0	227
	やや賛成	2	66	20.1	293	89.1
	どちらでもない	3	27	8.2	320	97.3
	やや反対	4	8	2.4	328	99.7
	非常に反対	5	1	0.3	329	100.0
	Q115. 私は、妻に働かせて自分は家で子どもの世話をするような男性を尊敬することはできない。	非常に賛成	1	86	26.1	86
やや賛成		2	67	20.4	153	46.5
どちらでもない		3	89	27.1	242	73.6
やや反対		4	56	17.0	298	90.6
非常に反対		5	31	9.4	329	100.0
Q116. 肉体的な重労働が女性に向かないように、精神的、感情的特質ゆえに女性に向かない仕事もいろいろあるということを、女性自身が自覚すべきである。		非常に賛成	1	92	28.0	92
	やや賛成	2	147	44.7	239	72.6
	どちらでもない	3	75	22.8	314	95.4
	やや反対	4	14	4.3	328	99.7
	非常に反対	5	1	0.3	329	100.0

(b) 性役割志向性尺度の採点化

個人得点の算出は、各被験者の各質問項目の回答に対して、前述の採点コードに従い得点化⁷⁾する。次いで、合計し、各個人の総得点とした。

各被験者の個人得点分布は表5に示す通りである。

表5 性役割志向性尺度 (ISRO) の個人得点分布

点数	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	点数	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
.	1	.	.	.	51	19	5.8	194	59.1
31	1	0.3	1	0.3	52	14	4.3	208	63.4
33	1	0.3	2	0.6	53	21	6.4	229	69.8
34	2	0.6	4	1.2	54	15	4.6	244	74.4
35	2	0.6	6	1.8	55	9	2.7	253	77.1
36	2	0.6	8	2.4	56	7	2.1	260	79.3
37	2	0.6	10	3.0	57	16	4.9	276	84.1
38	6	1.8	16	4.9	58	16	4.9	292	89.0
39	14	4.3	30	9.1	59	5	1.5	297	90.5
40	7	2.1	37	11.3	60	4	1.2	301	91.8
41	6	1.8	43	13.1	61	8	2.4	309	94.2
42	10	3.0	53	16.2	62	4	1.2	313	95.4
43	7	2.1	60	18.3	63	4	1.2	317	96.6
44	6	1.8	66	20.1	64	3	0.9	320	97.6
45	10	3.0	76	23.2	65	2	0.6	322	98.2
46	16	4.9	92	28.0	66	1	0.3	323	98.5
47	18	5.5	110	33.5	67	3	0.9	326	99.4
48	26	7.9	136	41.5	72	1	0.3	327	99.7
49	19	5.8	155	47.3	75	1	0.3	328	100.0
50	20	6.1	175	53.4					

なお、個人得点を10点刻みに5区分に分けて、その分布状態をみた表を表6に示す。

表6 性役割志向性尺度 (ISROC) の個人得点区分

点数	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
39以下	1	31	9.4	31	9.4
40~49	2	125	38.0	156	47.4
50~59	3	142	43.2	298	90.6
60~69	4	29	8.8	327	99.4
70以上	5	2	0.6	329	100.0

Dreyer, D.A.ら (1981) による性役割志向性尺度 (ISRO) は、社会および経済の平等化にかかわる態度や意識を考察するための「性役割志向性」を測定する尺度である。

この尺度においては、合計点が高いほど、非伝統的なフェミニストとしての性役割志向性が強いことを示している。

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

すなわち、前述のフェミニストは、理論上や実践活動面においても、社会の変革を求め、政治的、経済的な面での男女平等を提唱する傾向がある。

さらに、フェミニストの女性は、家族よりも自分自身を優先させ、自分の職業上や自己の人的成長の達成を重要視すると考えられている。

本学学生では、得点の50～59点を得た者が142人と一番多く、次いで、40～49点（125人）、39点以下（31人）、60～69点（29人）、70点以上（2人）となった。なお平均得点は50.15点である。

女子学生⁸⁾の場合、女権拡張の意識が高く、自分の職業上での達成を強く志している者は62点以上の得点を得たものであり、反対に、伝統的な性役割志向の者は、50点以下の低得点者とみなされている。

本学学生の場合、60点以上の高得点者は31人であり、50点以下の低得点者は156人と全体の約半数という多さであった。

早稲田大学の東 清和教授による東京都内での大学生を対象とした調査においては、「男子学生に比べて、女子学生の得点が高く（70点台も少なからずあった）、50点以下の低得点者は非常に少なくなっており、30点台は皆無で、平均得点は57点」という結果である。

これに対し、本学学生は短大生であるためであろうか、平均得点も6.85点低く、伝統的な性役割志向性の者が156人という多さである。30点台の極めて伝統的志向性の者も31人いることに注目すべきである。

（2）女性に対する態度尺度（ATW）について

（a）単純集計

女性に対する態度尺度の各項目の単純集計結果は表7に示す通りである。

賛成意見の多い項目の順序は、Q117「女性が下品な言葉を使った場合、男性がそれを使うよりも聞き苦しい」（非常に賛成66.6%、やや賛成29.5%、両者を合わせると96.1%）、Q126「熟練を要する仕事の門戸は女性にも平等に開かれるべきである」（95.4%）、Q122「女性は事業においても、また全ての職業においても、男性と同様にその実力にあった地位を得るべきである」（92.1%）、Q118「女性が家庭外で活動している現代の経済状態のもとでは、男性も皿洗いや洗濯のような家事を分担すべきである」（76.3%）、Q131「雇用・昇進の際、女性より男性が選ばなければならない仕事は多々ある」（73.5%）、Q120「結婚の申し込みは女性からも自由にしてよいはずだ」（69.9%）、Q129「一般的に父親は育児に際して母親より大きな権威を持つべきである」（59.9%）、Q130「男性によってこれまでつくられてきた「女らしさ」の考えを受け入れるよりも、女性にとっては経済的、社会的自由がはるかに重要である」（55.3%）となる。

他方、反対意見の多いものはQ123「女性は男性が行く歓楽街などへ行こうと思っはならない。また男性と同じように自由気ままな行動をとってよい、と思っはならない」（84.2

%)、Q119「結婚式で「あなたは、夫に従いますか…」という一節があるのは女性にとって侮辱的なことである」(62.6%)、Q124「女性がブルドーザーを運転したり、男性が編物をするのは、ばかげたことである」(62.3%)、Q127「多く稼いでいる女性はデートの時、等しく出費を負うべきである」(62.4%)、Q125「社会における知的な主導権は大部分、男性の手にあるべきである」(61.1%)の順である。

すなわち、男女平等意識が強いが、仕事上での男性の優位性や育児の際の父親の権威や女性としての嗜好の必要性も認めている。

また、「デートの時の出費は、たとえ女性が多く稼いでいても男性が負うべきだ」というちやっかりした一面もみられた。

表7 女性に対する態度尺度(ATW)

設問項目	カテゴリー	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
Q117. 女性が下品な言葉を使った場合、男性がそれを使うよりも聞き苦しい。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	非常に賛成	1	219	66.6	220	66.9
	やや賛成	2	97	29.5	317	96.4
	やや反対	3	11	3.3	328	99.7
	非常に反対	4	1	0.3	329	100.0
Q118. 女性が家庭外で活動している現代の経済状態のもとでは、男性も皿洗いや洗濯のような家事を分担すべきである。	非常に賛成	1	81	24.6	81	24.6
	やや賛成	2	170	51.7	251	76.3
	やや反対	3	67	20.4	318	96.7
	非常に反対	4	11	3.3	329	100.0
Q119. 結婚式で「あなたは、夫に従いますか…」という一節があるのは女性にとって侮辱的なことである。	非常に賛成	1	27	8.2	27	8.2
	やや賛成	2	96	29.2	123	37.4
	やや反対	3	164	49.8	287	87.2
	非常に反対	4	42	12.8	329	100.0
Q120. 結婚の申し込みは女性からも自由にしていはいはずだ。	非常に賛成	1	77	23.4	77	23.4
	やや賛成	2	153	46.5	230	69.9
	やや反対	3	84	25.5	314	95.4
	非常に反対	4	15	4.6	329	100.0
Q121. 女性は女性としての権利を主張するより、よい妻、よい母になることを重んじるべきである。	無回答	0	2	0.6	2	0.6
	非常に賛成	1	50	15.2	52	15.8
	やや賛成	2	142	43.2	194	59.0
	やや反対	3	111	33.7	305	92.7
	非常に反対	4	24	7.3	329	100.0
Q122. 女性は事業においても、また全ての職業においても、男性と同様にその実力にあった地位を得るべきである。	非常に賛成	1	149	45.3	149	45.3
	やや賛成	2	154	46.8	303	92.1
	やや反対	3	23	7.0	326	99.1
	非常に反対	4	3	0.9	329	100.0
Q123. 女性は男性が行く歓楽街などへ行こうと思っはならない。また男性と同じように自由気ままな行動をとってよい、と思っはならない。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	非常に賛成	1	4	1.2	5	1.5
	やや賛成	2	47	14.3	52	15.8
	やや反対	3	142	43.2	194	59.0
	非常に反対	4	135	41.0	329	100.0

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

表7 女性に対する態度尺度 (ATW)

設問項目	カテゴリー	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
Q124. 女性がブルドーザーを運転したり、男性が編物をするのは、ばかげたことである。	非常に賛成	1	48	14.6	48	14.6
	やや賛成	2	76	23.1	124	37.7
	やや反対	3	122	37.1	246	74.8
	非常に反対	4	83	25.2	329	100.0
	無回答	0	0	0.0	0	0.0
Q125. 社会における知的な主導権は大部分、男性の手にあるべきである。	無回答	0	2	0.6	2	0.6
	非常に賛成	1	24	7.3	26	7.9
	やや賛成	2	102	31.0	128	38.9
	やや反対	3	147	44.7	275	83.6
	非常に反対	4	54	16.4	329	100.0
Q126. 熟練を要する仕事の門戸は女性にも平等に開かれるべきである。	無回答	0	2	0.6	2	0.6
	非常に賛成	1	138	41.9	140	42.6
	やや賛成	2	176	53.5	316	96.0
	やや反対	3	12	3.6	328	99.7
	非常に反対	4	1	0.3	329	100.0
Q127. 多く稼いでいる女性はデートの時、等しく出費を負うべきである。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	非常に賛成	1	23	7.0	24	7.3
	やや賛成	2	100	30.4	124	37.7
	やや反対	3	140	42.6	264	80.2
	非常に反対	4	65	19.8	329	100.0
Q128. 家族の中で息子は娘より大学に行く事を奨励されるべきである。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	非常に賛成	1	32	9.7	33	10.0
	やや賛成	2	111	33.7	144	43.8
	やや反対	3	132	40.1	276	83.9
	非常に反対	4	53	16.1	329	100.0
Q129. 一般的に父親は育児に際して母親より大きな権威を持つべきである。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	非常に賛成	1	56	17.0	57	17.3
	やや賛成	2	141	42.9	198	60.2
	やや反対	3	112	34.0	310	94.2
	非常に反対	4	19	5.8	329	100.0
Q130. 男性によってこれまでつくられてきた「女らしさ」の考えを受け入れるよりも、女性にとっては経済的、社会的自由がはるかに重要である。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	非常に賛成	1	27	8.2	28	8.5
	やや賛成	2	155	47.1	183	55.6
	やや反対	3	138	41.9	321	97.6
	非常に反対	4	8	2.4	329	100.0
Q131. 雇用・昇進の際、女性より男性が選ばれなければならない仕事は多々ある。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	非常に賛成	1	53	16.1	54	16.4
	やや賛成	2	189	57.4	243	73.9
	やや反対	3	78	23.7	321	97.6
	非常に反対	4	8	2.4	329	100.0

(b) 女性に対する態度尺度の採点化

個人得点の算出は、各被験者の各質問項目の回答に対して、前述の採点コード⁹⁾に従って得点化する。次いで合計し、各個人の総得点とした。

各被験者の個人得点は表8に示す。

表8 女性に対する態度尺度（ATW）の個人得点分布

点数	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	点数	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
4	1	0.3	1	0.3	26	25	7.9	222	70.5
11	1	0.3	2	0.6	27	16	5.1	238	75.6
13	1	0.3	3	1.0	28	14	4.4	252	80.0
14	4	1.3	7	2.2	29	19	6.0	271	86.0
15	3	1.0	10	3.2	30	12	3.8	283	89.8
16	3	1.0	13	4.1	31	5	1.6	288	91.4
17	10	3.2	23	7.3	32	6	1.9	294	93.3
18	11	3.5	34	10.8	33	6	1.9	300	95.2
19	14	4.4	48	15.2	34	5	1.6	305	96.8
20	23	7.3	71	22.5	35	4	1.3	309	98.1
21	22	7.0	93	29.5	36	1	0.3	310	98.4
22	22	7.0	115	36.5	38	1	0.3	311	98.7
23	29	9.2	144	45.7	39	3	1.0	314	99.7
24	27	8.6	171	54.3	40	1	0.3	315	100.0
25	26	8.3	197	62.5					

なお、個人得点を1～25点、26～33点、34～36点、37点以上の4区分に分けて、その分布状態をみた表を表9に示した。

表9 女性に対する態度尺度（ATWC）の個人得点区分

点数	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
1～25	197	62.5	197	62.5
26～33	103	32.7	300	95.2
34～36	10	3.2	310	98.4
37以上	5	1.6	315	100.0

Spence, J.T.ら（1972）による女性に対する態度尺度（ATW）は、女性の持つべき権利や役割について、どう考えるかを測定する尺度である。

高得点であるほどフェミニスト的な態度を内在しており、男女の平等観が強く、男女の生理的な性別による役割分担（たとえば、男性は外で仕事、女性は家事・育児）には、否定的な態度をとりやすいことを示す。

本学学生では、得点の1～25点を得た者が197人で一番多く、次いで26～33点（103人）、34～36点（10人）、37点以上（5人）の順となった。なお、平均得点は24.3点であった。

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

女性の場合は、25点以下の得点であれば、女性が持つべき権利や役割において、かなり保守的、因襲的で古風な見解をもっていると考えられる。

一方、34点以上であれば、かなり革新的な平等観をもっており、ニュー・フェミニズムという時代の思潮の先端を進んでいる可能性があり、37点以上であれば、最先端のグループに入り、急進的な見解の持主とみなされる場合が多いと考えられている。

本学学生では、35点以上のニュー・フェミニズム思想の持主は15人と非常に少なく、38点以上の最先端グループに入る者は5人という少なさである。

他方、26点以下のかなり保守的で古風な見解の持主は197人(62.5%)もあり、26～33点の103人(32.7%)と合わせると、大部分がかなり保守的であるといえよう。

前述の東 清和教授の東京都内の国立大学と私立大学の2大学生を対象とした調査では、男子学生よりも女子学生の得点が高く、女性の方がより高い平等意識をもっており、双方の女子大学生の平均得点は(29.1点)という結果であった。

この女子大生に比べ、本学学生は平均得点が4.81点も低く、より保守的であるといえよう。

3・2 被服に対する意識と行動調査の結果

(1) 被服に対する意識と行動について

(a) 単純集計

被服に対する意識と行動の各項目の単純集計結果は表10に示す通りである。各項目について賛成意見である「そう思う」と「ややそう思う」をあわせてみると、質問の「あなたは衣服が汚れたらすぐに洗って着ていると思いますか」や「あなたは少し高価でもデザイン品質のよいものを選んで着たいと思いますか」に対しては90%以上となる。次に「あなたは流行に関心はあるが洋服の着心地や経済性および好みを考えてから取り入れる方だと思いますか」や「成人式には振袖を着たいと思いますか」、「あなたはTPOに合わせて適切な衣服を選んでいると思いますか」、「あなたは服装は自己表現の有力手段であると思いますか」、「あなたは夏は涼しく、冬は暖かくというように、実用性を重んじる方だと思いますか」、「あなたは夏祭には浴衣を着たいと思いますか」、「あなたは自分の服装に対して他人がどう思っているか気にする方であると思いますか」の各質問には80%以上となり、これらの項目には賛成するものが高比率を示している。つぎに被服に対する意識と行動との共通した項目を抽出して調べると「あなたは自分の服装に対して他人がどう思っているか気にする方であると思いますか」82.1%、「あなたは自分によく似合う服を上手に着こなしていると思いますか」61.4%、「あなたはどちらかと云えば華やかな服装が好きな方であると思いますか」52.3%、「あなたは他人や周囲の人達と同じような服装をしている方が気持ち落ち着く方だと思いますか」41.0%、「あなたは他人と同じような服装をするのが嫌

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

いで、個性的な服を着る方であると思いますか」39.5%、「人間は服装よりも自分自身が大切だから、着るものにこだわらない方が良いと思いますか」35.6%、「あなたはどちらかと云うと目立たない地味な服装が好きな方であると思いますか」31.9%の順となっている。以上の結果より次の事が考えられる。すなわち個性的な服を着用して他人との違いを出したい意識は強いがその反面人の目を気にする傾向もあるため、結果として安全志向となり地味な服を着てしまうようである。つづいて和服着用度の項目では、質問の「成人式には振袖を着たいと思いますか」が85.4%多いのに対して、「成人式にはあなたは振袖よりも個性的な洋服を着たいと思いますか」が19.5%となり、成人式には個性的な洋服よりもあくまでも振袖を着たいという願望が顕著にあらわれている。更に和服に対する着用度をみれば「あなたは夏祭には浴衣を着たいと思いますか」が84.2%、「あなたはお正月には着物を着たいと思いますか」73.3%と和服を着たいと思っているが「慶弔の式には伝統的な民族衣装である和服を着たいと思いますか」に対しては59.3%と、着用率は減少気味である。これを前回の調査¹⁰⁾と比べれば、主婦グループでは慶弔で和服を着ていると答えた人が80%と高かったが、本調査では被験者が学生であることから慶弔の式への列席経験も少ないということもあって、慶弔の式に和服を着たいという回答比率が他の場合に比べて低く出たものと思われる。

ブランド志向の項目では「あなたは有名ブランドの服を着たいと思いますか」71.7%、「あなたはブランド商品の方が高価だと思いませんか」68.4%となり、ほぼ70%の人がブランド志向への関心を示している。衣服の素材についての関心については「あなたは衣服を購入する場合流行にとらわれず、素材が天然繊維の服（綿、麻、絹、毛）を主に選んでいると思いますか」や「あなたは服を購入するとき洗たくしやすい素材を主に選んでいると思いますか」と約半数が素材に注目して衣服購入を行っている。また、被服着用目的には魅力的な服を着て、異性の目をひきつけたいというSexual Attraction（性的吸引）もあるが、本学の学生の場合は「あなたは男性の目を意識して衣服を着ていると思いますか」56.8%や「あなたは服装によって性的魅力を発揮出来ると思いますか」48.9%と約半数が男性の目を意識して被服を着用している。反面「あなたは女性の目を意識して衣服を着ていると思いますか」という設問に対しては71.7%と多くの学生は同性の目を意識しているという結果であり、異性よりも同性の目を意識しているということは興味深い。次に、服装における流行に対する態度についての項目について調査した結果は、第1位として「あなたは流行に関心はあるが洋服の着心地や経済性および好みを考えてから取り入れる方であると思いますか」であり、第2位「あなたは自分も流行に遅れないようにする方であると思いますか」、第3位「あなたは流行は追わない方であると思いますか」、第4位「あなたは流行は人よりすぐに取り入れる方であると思いますか」の順となり前回の調査¹¹⁾と同傾向がみられた。

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

表10 被服に対する意識と行動

設 問 事 項	カテゴリー	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
Q31 あなたは自分によく似合う服を上手に着こなしていると思いますか。	そう思う	1	31	9.4	31	9.4
	ややそう思う	2	171	52.0	202	61.4
	ややそう思わない	3	100	30.4	302	91.8
	そう思わない	4	27	8.2	329	100.0
Q32 慶弔の式には伝統的な民族衣装である和服を着たいと思いますか。	そう思う	1	86	26.1	86	26.1
	ややそう思う	2	109	33.1	195	59.3
	ややそう思わない	3	94	28.6	289	87.8
	そう思わない	4	40	12.2	329	100.0
Q33 成人式には振袖を着たいと思いますか。	そう思う	1	226	68.7	226	68.7
	ややそう思う	2	55	16.7	281	85.4
	ややそう思わない	3	23	7.0	304	92.4
	そう思わない	4	25	7.6	329	100.0
Q34 人間は服装よりも自分自身が大切だから、着るものにこだわらない方が良いと思いますか。	そう思う	1	24	7.3	24	7.3
	ややそう思う	2	93	28.3	117	35.6
	ややそう思わない	3	131	39.8	248	75.4
	そう思わない	4	81	24.6	329	100.0
Q35 あなたは他人と同じような服装をするのが嫌いで、個性的な服を着る方であると思いますか。	そう思う	1	31	9.4	31	9.4
	ややそう思う	2	99	30.1	130	39.5
	ややそう思わない	3	164	49.8	294	89.4
	そう思わない	4	35	10.6	329	100.0
Q36 あなたは有名ブランドの服を着たいと思いますか。	そう思う	1	87	26.4	87	26.4
	ややそう思う	2	149	45.3	236	71.7
	ややそう思わない	3	51	15.5	287	87.2
	そう思わない	4	42	12.8	329	100.0
Q37 あなたはTPOに合わせて適切な衣服を選んでいていると思いますか。	そう思う	1	80	24.3	80	24.3
	ややそう思う	2	199	60.5	279	84.8
	ややそう思わない	3	43	13.1	322	97.9
	そう思わない	4	7	2.1	329	100.0
Q38 あなたは服を購入するとき洗たくしやすい素材を主に選んでいると思いますか。	そう思う	1	45	13.7	45	13.7
	ややそう思う	2	118	35.9	163	49.5
	ややそう思わない	3	114	34.7	277	84.2
	そう思わない	4	52	15.8	329	100.0
Q39 あなたは衣服が汚れたらすぐに洗って着ていると思いますか。	そう思う	1	212	64.4	212	64.4
	ややそう思う	2	97	29.5	309	93.9
	ややそう思わない	3	18	5.5	327	99.4
	そう思わない	4	2	0.6	329	100.0
Q310 あなたは男性の目を意識して衣服を着ていると思いますか。	そう思う	1	31	9.4	31	9.4
	ややそう思う	2	156	47.4	187	56.8
	ややそう思わない	3	113	34.3	300	91.2
	そう思わない	4	29	8.8	329	100.0

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

表10 被服に対する意識と行動

設問事項	カテゴリー	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
Q311 あなたは女性の目を意識して衣服を着ていると思いますか。	そう思う	1	58	17.6	58	17.6
	ややそう思う	2	178	54.1	236	71.7
	ややそう思わない	3	73	22.2	309	93.9
	そう思わない	4	20	6.1	329	100.0
Q312 成人式にはあなたは振袖よりも個性的な洋服を着たいと思いますか。	そう思う	1	22	6.7	22	6.7
	ややそう思う	2	42	12.8	64	19.5
	ややそう思わない	3	111	33.7	175	53.2
	そう思わない	4	154	46.8	329	100.0
Q313 あなたは夏祭には浴衣も着たいと思いますか。	そう思う	1	185	56.2	185	56.2
	ややそう思う	2	92	28.0	277	84.2
	ややそう思わない	3	30	9.1	307	93.3
	そう思わない	4	22	6.7	329	100.0
Q314 あなたは高級な毛皮を着ている人はお金持ちだと思いますか。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	そう思う	1	104	31.6	105	31.9
	ややそう思う	2	119	36.2	224	68.1
	ややそう思わない	3	58	17.6	282	85.7
Q315 あなたはブランド商品の方が高価だと思いますか。	そう思う	1	94	28.6	94	28.6
	ややそう思う	2	131	39.8	225	68.4
	ややそう思わない	3	56	17.0	281	85.4
	そう思わない	4	48	14.6	329	100.0
Q316 あなたは衣服を購入する場合流行にとらわれず、素材が天然繊維の服（綿・麻・絹・毛）を主に選んでいると思いますか。	そう思う	1	47	14.3	47	14.3
	ややそう思う	2	133	40.4	180	54.7
	ややそう思わない	3	119	36.2	299	90.9
	そう思わない	4	30	9.1	329	100.0
Q317 あなたは夏は涼しく、冬は暖かくというように、実用性を重んじる方だと思いますか。	そう思う	1	109	33.1	109	33.1
	ややそう思う	2	169	51.4	278	84.5
	ややそう思わない	3	46	14.0	324	98.5
	そう思わない	4	5	1.5	329	100.0
Q318 あなたは服装によって性的魅力を発揮出来ると思いますか。	そう思う	1	46	14.0	46	14.0
	ややそう思う	2	115	35.0	161	48.9
	ややそう思わない	3	103	31.3	264	80.2
	そう思わない	4	65	19.8	329	100.0
Q319 あなたは自分の服装に対して他人がどう思っているか気にする方だと思いますか。	そう思う	1	91	27.7	91	27.7
	ややそう思う	2	179	54.4	270	82.1
	ややそう思わない	3	43	13.1	313	95.1
	そう思わない	4	16	4.9	329	100.0
Q320 あなたは服装は自己表現の有力な手段であると思いますか。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	そう思う	1	118	35.9	119	36.2
	ややそう思う	2	159	48.3	278	84.5
	ややそう思わない	3	42	12.8	320	97.3
	そう思わない	4	9	2.7	329	100.0

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

表10 被服に対する意識と行動

設問事項	カテゴリー	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
Q321 あなたはどちらかと云えば華やかな服装が好きな方だと思いますか。	そう思う	1	60	18.2	60	18.2
	ややそう思う	2	112	34.0	172	52.3
	ややそう思わない	3	125	38.0	297	90.3
	そう思わない	4	32	9.7	329	100.0
Q322 あなたはお正月には着物を着たいと思いますか。	そう思う	1	145	44.1	145	44.1
	ややそう思う	2	96	29.2	241	73.3
	ややそう思わない	3	51	15.5	292	88.8
	そう思わない	4	37	11.2	329	100.0
Q323 あなたはどちらかと云うと目立たない地味な服装が好きな方だと思いますか。	無回答	0	1	0.3	1	0.3
	そう思う	1	20	6.1	21	6.4
	ややそう思う	2	85	25.8	106	32.2
	ややそう思わない	3	155	47.1	261	79.3
Q324 あなたは他人や周囲の人達と同じような服装をしている方が気持ちが落ちつく方だと思いますか。	そう思う	1	19	5.8	19	5.8
	ややそう思う	2	116	35.3	135	41.0
	ややそう思わない	3	121	36.8	256	77.8
	そう思わない	4	73	22.2	329	100.0
Q325 あなたは少し高価でもデザイン品質のよいものを選んで着たいと思いますか。	そう思う	1	159	48.3	159	48.3
	ややそう思う	2	144	43.8	303	92.1
	ややそう思わない	3	23	7.0	326	99.1
	そう思わない	4	3	0.9	329	100.0
Q326 あなたは流行は人よりすぐに取り入れる方だと思いますか。	そう思う	1	9	2.7	9	2.7
	ややそう思う	2	61	18.5	70	21.3
	ややそう思わない	3	195	59.3	265	80.5
	そう思わない	4	64	19.5	329	100.0
Q327 あなたは自分も流行に遅れないようにする方だと思いますか。	そう思う	1	11	3.3	11	3.3
	ややそう思う	2	143	43.5	154	46.8
	ややそう思わない	3	117	35.6	271	82.4
	そう思わない	4	58	17.6	329	100.0
Q328 あなたは流行に関心はあるが洋服の着心地や経済性および好みを考えてから取り入れる方だと思いますか。	そう思う	1	142	43.2	142	43.2
	ややそう思う	2	147	44.7	289	87.8
	ややそう思わない	3	35	10.6	324	98.5
	そう思わない	4	5	1.5	329	100.0
Q329 あなたは流行は追わない方だと思いますか。	そう思う	1	46	14.0	46	14.0
	ややそう思う	2	102	31.0	148	45.0
	ややそう思わない	3	150	45.6	298	90.6
	そう思わない	4	31	9.4	329	100.0

(2) スタイルの嗜好度について

着てみたいと思うスタイルは、表11のように、ドレッシー201人（61.1%）と最も多く、次いでスポーティ116人（35.3%）、カジュアル11人（3.3%）の順に選好されている。前回の調査によれば、ドレッシー（35.6%）、カジュアル（33.7%）、スポーティ（30.5%）の順でいずれもあまり差がなく本調査とは異っている。これは、今回におけるサンプルの抽出も要因の一つとしてあげられるのではなかろうか。

表11 スタイルの嗜好度

項目	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)
無回答	0	1	0.3	0.3
スポーティ	1	116	35.3	35.6
ドレッシー	2	201	61.1	96.7
カジュアル	3	11	329	100.0

(3) ふり袖の嗜好性と選択行動について

「ふり袖の選択」と「選択した理由」を調査した結果をそれぞれ表12、表13に示す。表によると着て見たいふり袖では、「御所車の古典柄で、地色は朱色系で金色をあしらっている」が162人（49.2%）で最も多く、次いで、「和洋折衷風でハイヒールを履き、地色は多色」が56人（17.0%）、「大正ロマン風で半衿にはししゅうをあしらひ、地色は茶色系と金色」が45人（13.7%）である。朝日新聞¹³⁾によると「金彩友禅作家の和田光正氏が、氏の作品展示会で入場者を対象に着物についてアンケートした結果、若年層ほど古典的な文様にひかれている（取意）」とあるが、われわれの調査結果でも同様の傾向が見られた。またふり袖でハイヒールを履くという、一見奇抜なスタイルと思われる和服の着装行動が、若い世代にどう反映するか関心があったが、結果としては17%の支持があり、従来の和服着装行動では見られなかった傾向が、若年層の嗜好に取り入れられていることがわかった。

ふり袖の選択した理由(表13)についてみると、「全体の色の調和が好ましいから選んだ」が198人（60.2%）と極めて高い支持を得ている。次いで、「着物が洋服感覚で現代的だから選んだ」41人（12.5%）、「昔からある柄和服向き、模様なので選んだ」40人（12.2%）、「その他」25人（7.6%）、「豪華だから選んだ」23人（7.0%）の順になっている。前回の調査時の結果によれば、1位「全体の色の調和が好ましいから選んだ（53.1%）」、2位「昔からある柄、和服向き模様なので選んだ（18.9%）」、3位「豪華だから選んだ（15.0%）」、「着物の柄が洋服感覚で現代的だから選んだ（12.8%）」となり、本調査の結果と微妙に異っている。

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

表12 ふり袖の選択

項目	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
無回答	0	3	0.9	3	0.9
和洋折衷ふうでハイヒールを履き地色は多色	1	56	17.0	59	17.9
御所車の古典柄で地色は黒色	2	24	7.3	83	25.2
花柄総しほりで地色は黄色系	3	14	4.3	97	29.5
大正ロマン風で半衿にはししゅうをあしらい地色は茶色系で金色	4	45	13.7	142	43.2
御所車の古典柄で地色は朱色系で金色をあしらっている	5	162	49.2	304	92.4
橘の古典柄で地色は鞆(とき)色	6	25	7.6	329	100.0

表13 ふり袖の選択した理由

理由	度数 (人)	頻度 (%)	累積度数 (人)	累積頻度 (%)	
無回答	0	2	0.6	2	0.6
全体の色の調和が好ましいから選んだ	1	198	60.2	200	60.8
着物が洋服感覚で現代的だから選んだ	2	41	12.5	241	73.3
豪華だから選んだ	3	23	7.0	264	80.2
昔からある柄・和服向き模様なので選んだ	4	40	12.2	304	92.4
その他	5	25	7.6	329	100.0

3. 3 心理調査と被服に対する意識と行動調査のクロス集計

「性役割志向性尺度の得点 (ISROC)」と「女性に対する態度尺度の得点 (ATWC)」をクロスさせて、作成したブロック図を図2に示す。

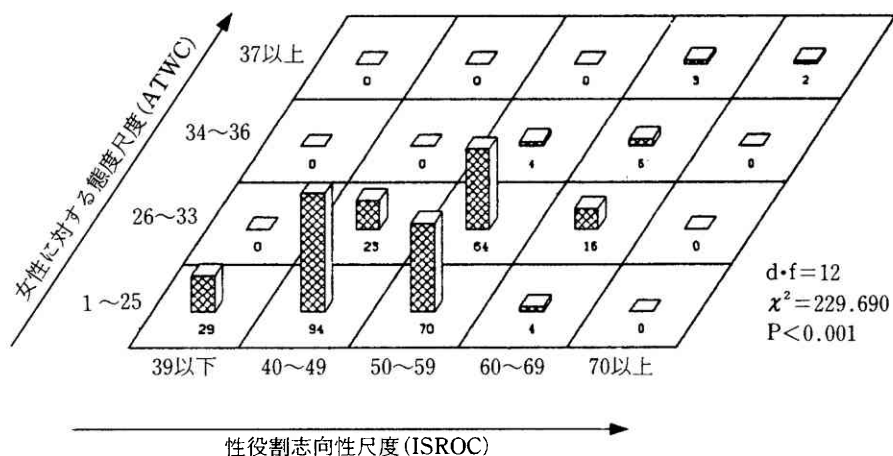


図2 女性に対する態度尺度(ATWC)×性役割志向性尺度(ISROC)

図によれば、得点において「ISROC」の(40～49点)と「ATWC」の(1～25点)の94人(29.8%)の組合せが1番多く、次いで、「ISROC」(50～59点)と「ATWC」の(1～25点)70人(22.2%)の組合せ、さらに「ISROC」の(50～59点)と「ATWC」の(26～33点)の組合せの順になっている。次に「ATWC」の得点の軸で見ると、「ATWC」が(1～25点)の者が197人(62.5%)であり、次に「ATWC」の(26～33点)の者が103人(32.7%)で、この両者の得点の者が大部分である。また、「ISROC」からみれば、「ISROC」の(50～59点)の得点者が138人(43.8%)と一番多く、次いで(40～49点)、117人(31.14%)となり、その117人中94人(29.84%)が「ATWC」の(1～25点)の得点者である。

以上の結果から、「ISROC」、「ATWC」ともに低得点者が多く、特に「ATWC」では、男女の平等観が弱く、かなり伝統的な性役割志向性であるといえる。 χ^2 検定で有意差がありこのことは、「ISROC」と「ATWC」の両テスト間には、極めて高い関連性がみられ、両テストの類似性を示すものである。

「ISROC」と項目の「あなたは自分によく似合う服を着ていると思いますか」とをクロスさせて、作成したブロック図を図3に示す。

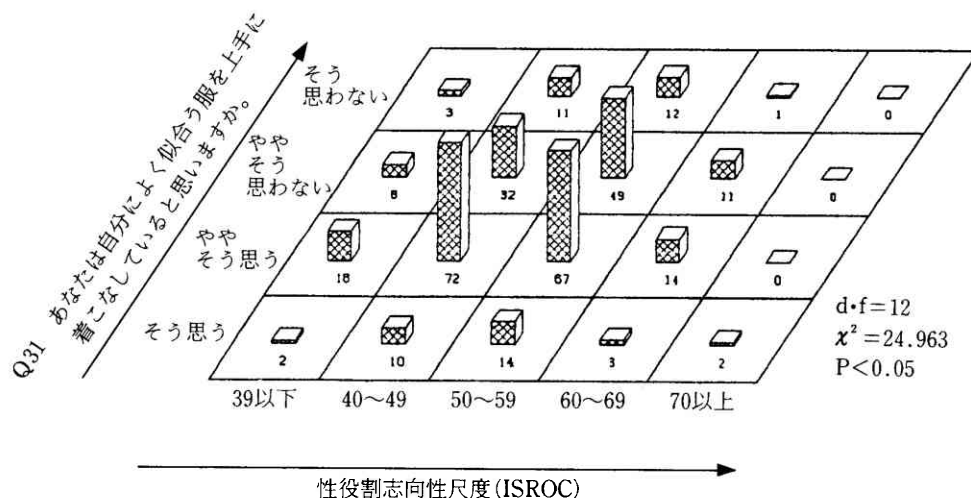


図3 あなたは自分によく似合う服を上手に着こなしていると思いますか。×性役割志向性尺度 (ISROC)

図によれば、「ISROC」の(40～49点)の者が「ややそう思う」のが72人(21.9%)と一番多く、次いで「ISROC」の(50～59点)の者が「ややそう思う」67人(20.4%)、さらに「ISROC」の(50～59点)の者が「ややそう思わない」49人(14.9%)の順になる。次に、項目の「あなたは自分によく似合う服を上手に着こなしていると思いますか」を軸に見れば、「ややそう思う」が171人(52.0%)と半数以上であり、「ややそう思わない」の否

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

定の意見も100人(30.4%)である。また「ISROC」からみれば、「ややそう思う」者が「ISROC」の(40～49点)の者125人(38.0%)中72人であり、次いで、(50～59点)の者142人中67人であった。「ISROC」の(40～49点)および(50～59点)の者が「ややそう思う」のが139人(42.2%)と多い反面、「ややそう思わない」のも81人(24.6%)いる。

ISROCの総得点による革新性—保守性の判定¹⁵⁾から見ると本学学生のISROCの得点分布はかなり保守的であるといえる。衣服の着こなしや選択行動においてもこの傾向がみられ自分の好みよりも伝統性や習慣性を重視していることが調査結果から明らかになった。 χ^2 検定では、両項目間には5%レベルで有意な差が認められた。

「ISROC」と項目の「成人式にはふり袖を着たいと思いますか」をクロスさせて、作成したブロック図を図4に示す。

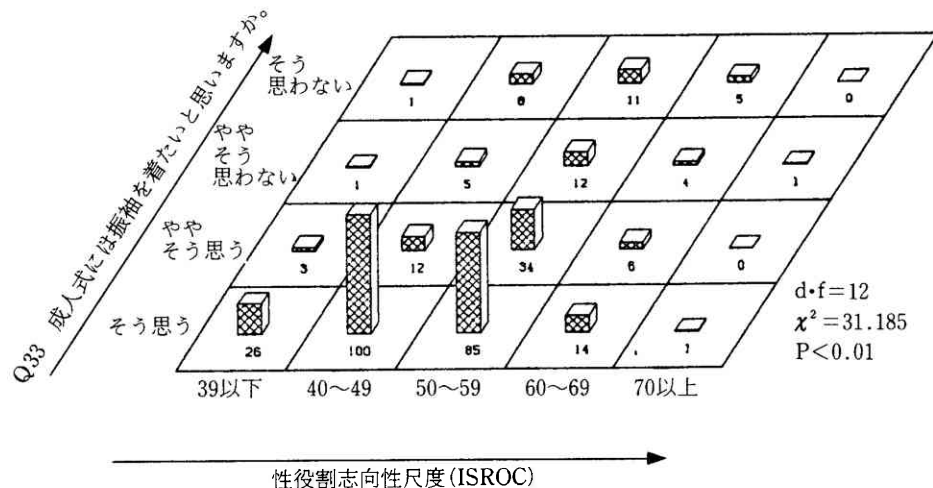


図4 成人式には振袖を着たいと思いますか×性別志向性尺度(ISROC)

図によれば、「ISROC」の(40～49点)の者が「そう思う」100人(30.4%)で一番多く、次いで「ISROC」の(50～59点)の者が「そう思う」85人(25.8%)となる。次に「成人式にはふり袖を着たいと思いますか」を軸に見れば、「そう思う」が226人(68.7%)と多く、「ややそう思う」55人(16.7%)と合せば、大部分の281人(85.4%)が成人式には、ふり袖を着たいと思っている。また「ISROC」の(40～49点)の者125人中100人がふり袖を着たいと思っている。伝統的、保守的な考え方の持主は、式典には昔ながらの振袖を着たいと思うのであろうか。 χ^2 検定により、両項目間には1%レベルでの有意差が認められた。

「ISROC」と項目の「人間は服装よりも自分自身が大切だから、着るものにこだわらない方が良いと思いますか」をクロスさせて作成した、ブロック図を図5に示す。

大手前女子学園 (大手前女短大研集)「研究集録」第8号 (1988年)

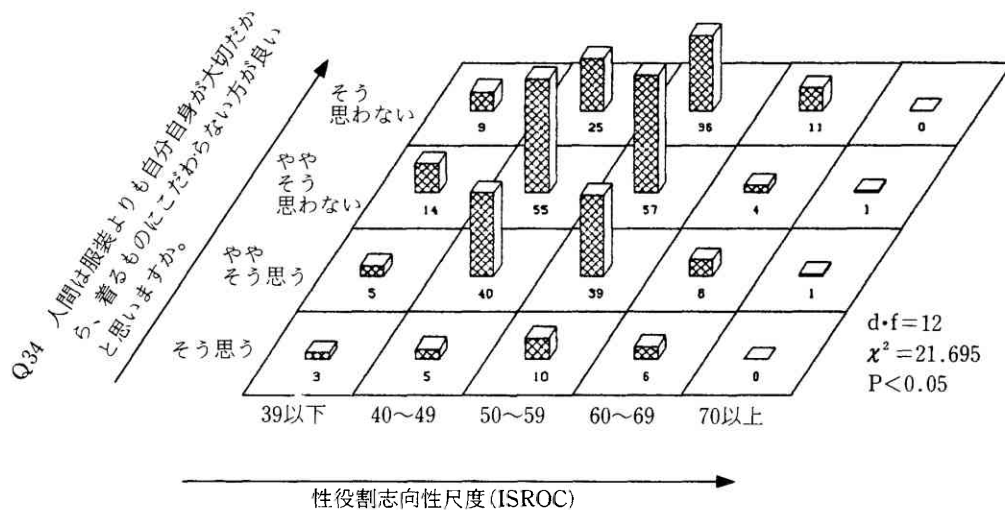


図5 人間は服装よりも自分自身が大切だから、着るものにこだわらない方が良いと思いますか。 × 性役割志向性尺度 (ISROC)

図によれば「ISROC」の(50~59点)の者が「ややそう思わない」57人(17.3%)で一番多く、次いで「ISROC」の(40~49点)の者が「ややそう思わない」55人(16.7%)となる。次に、項目「人間は服装より自分自身が大切だから、着るものにこだわらない方がよいと思いますか」を軸にみれば、「ややそう思わない」が131人(39.8%)で、「そう思わない」81人(24.6%)と合わせると212人(64.4%)となり、反対意見の方が多い。女性の美しさを求める古風な考え方の持主が多いためと思われる。χ²検定より、両項目間には5%レベルの有意差が認められた。

「ISROC」と項目の「あなたは他人と同じような服装をするのが嫌いで、個性的な服を着る方であると思いますか」をクロスさせ作成したブロック図を図6に示す。

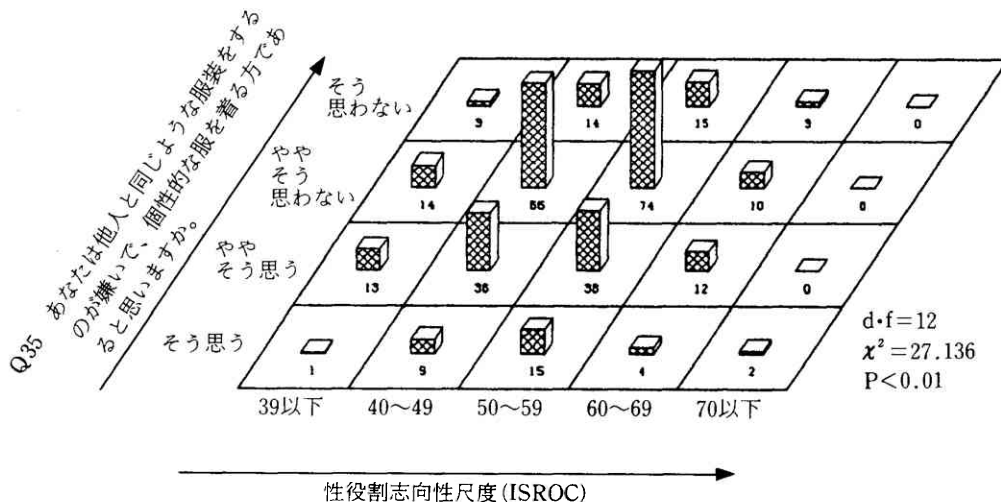


図6 あなたは他人と同じような服装をするのが嫌いで、個性的な服を着る方であると思いますか。 × 性役割志向性尺度 (ISROC)

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

図によれば、「ISROC」の（50～59点）の者が「ややそう思わない」が74人（22.5%）で一番多く、次いで「ISROC」の（40～49点）の者が「ややそう思わない」66人（20.1%）となる。次に「個性的な服を着る方であると思いますか」を軸に見れば、164人（49.9%）と約半数が「ややそう思わない」方である。また「ISROC」の（50～59点）の者142人中「ややそう思わない」が74人と多く、「そう思わない」15人と合すると反対の意見の方が多くなる。「ISROC」の得点の低い者は「個性的な服」に対しては拒否定である傾向がある。このことは「ISROC」の低得点層（保守的尺度）の者は、服装においても個性的よりも伝統的で無難な服を着るようである。 χ^2 検定により、両項目間には1%レベルの有意差が認められた。

「ISROC」と項目の「あなたは女性の目を意識して衣服を着ていると思いますか」をクロスさせて、作成したブロック図を図7に示す。

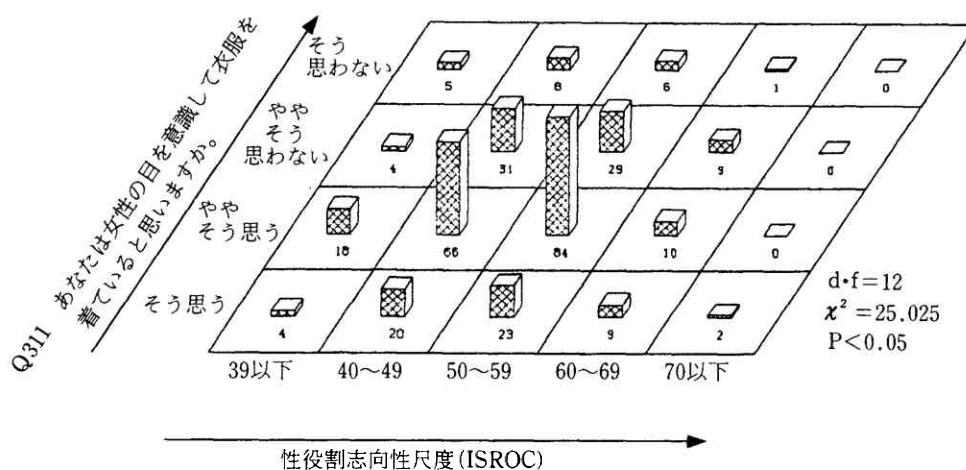


図7 あなたは女性の目を意識して衣服を着ていると思いますか。×性役割志向性尺度(ISROC)

この結果、「ISROC」の（50～59点）の者が、「ややそう思う」84人（25.5%）で一番多く、次いで「ISROC」の（40～49点）の者が「ややそう思う」66人（20.1%）である。次に、「ISROC」に対する「同性の目を意識して衣服を着る」との項目については「ややそう思う」者が、178人（54.1%）と半数以上である。伝統的な、因襲的な考え方の者は、仲間はずれになりたくないためであろうか、女性の目をかなり意識して批判を受けたくないような衣服を着ているものと思われる。

「ISROC」と項目の「成人式には、あなたはふり袖よりも個性的な洋服を着たいと思いますか」をクロスさせて、作成したブロック図を図8に示す。

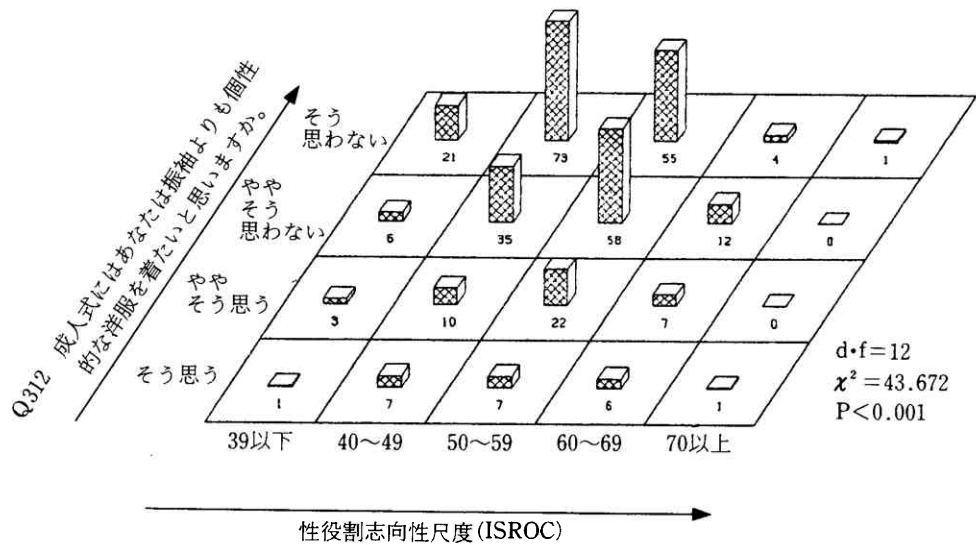


図8 成人式にはあなたは振袖よりも個性的な洋服を着たいと思いますか。×性役割志向性尺度(ISROC)

この結果、「ISROC」の（40～49点）で「そう思わない」者が73人（22.2%）と多く、次いで「ISROC」の（50～59点）で「ややそう思わない」が58人（17.6%）となる。次に、「ISROC」に対する「成人式にふり袖より個性的な洋服を着る」項目については「そう思わない」が154人（46.8%）と多く、「ややそう思わない」者111人（33.7%）と合わせると、反対意見が、265人（80.6%）と非常に多くなる。伝統的・因襲的であるので、成人式には個性的な洋服よりも、伝統的な衣服を着たいと思っているのがみられる。 χ^2 検定により、両項目間には0.1%レベルの高い有意差が認められた。

「ISROC」と項目の「あなたは服装によって性的魅力を発揮できると思いますか」をクロスさせて、作成したブロック図を図9に示す。

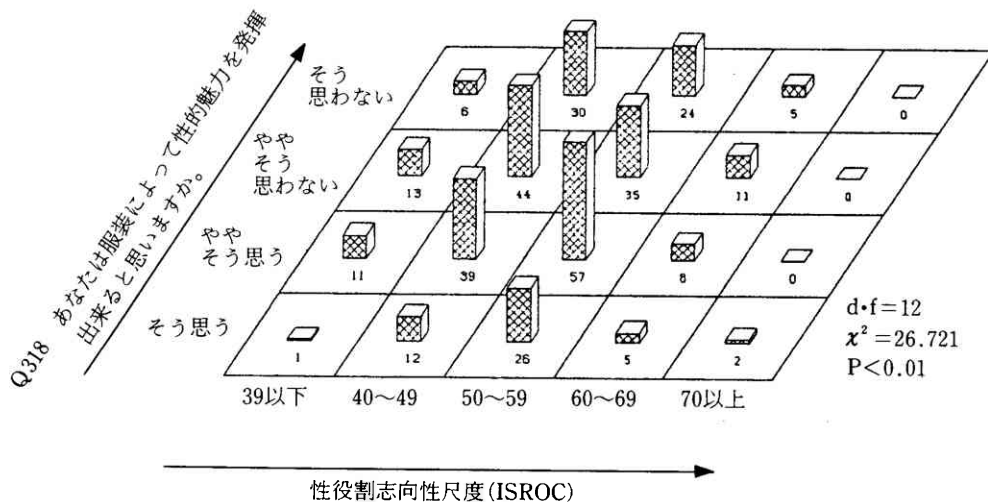


図9 あなたは服装によって性的魅力を発揮出来ると思いますか。×性役割志向性尺度(ISROC)

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

図によれば、「ISROC」の（50～59点）で「ややそう思う」が57人（17.3%）で多く、次いで「ISROC」の（40～49点）の「ややそう思わない」44人（13.4%）、「ISROC」の（40～49点）の39人（11.9%）の順となる。「ISROC」に対する「服装によって性的魅力を発揮できると思う」項目については、「ややそう思わない」103人（31.3%）と「そう思わない」65人（19.8%）を合わせると、反対意見は168人（51.1%）と半数以上となる。「女性は慎み深く」をモットーにしている伝統的な考え方の約半数は、服装により性的魅力を発揮できないと思っている。χ²検定により、両項目間には1%レベルの有意差が認められた。

「ISROC」と「着てみたいスタイル」をクロスさせて、作成したブロック図を図10に示す。

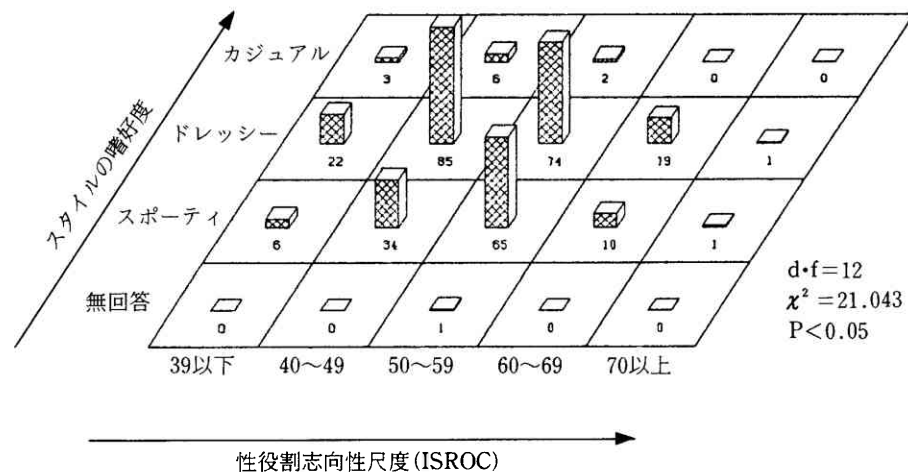


図10 スタイルの嗜好度×性役割志向性尺度(ISROC)

図によれば、「ISROC」が（40～49点）で「ドレッシェー」を選ぶ者が85人（25.8%）で一番多く、次いで、「ISROC」の（50～59点）で「ドレッシェー」74人（22.5%）となる。また、スタイルでは「ドレッシェー」を201人（61.1%）と最も多く選んでおり、次に、スポーティ116人（35.3%）となりカジュアルは11人（3.34%）と選んだ者はわずかである。さらに、「ISROC」（40～49点）で「ドレッシェー」を選ぶものが125人中85人と圧倒的に多い。これは、伝統的な女性は女らしく、しなやかな「ドレッシェー」な衣服を着て「女性らしさ」を強調するものと思われる。χ²検定より、両項目には5%レベルの有意差が認められた。

「ATWC」と項目の「成人式にはふり袖を着たいと思いますか」をクロスさせて、作成したブロック図を図11に示す。

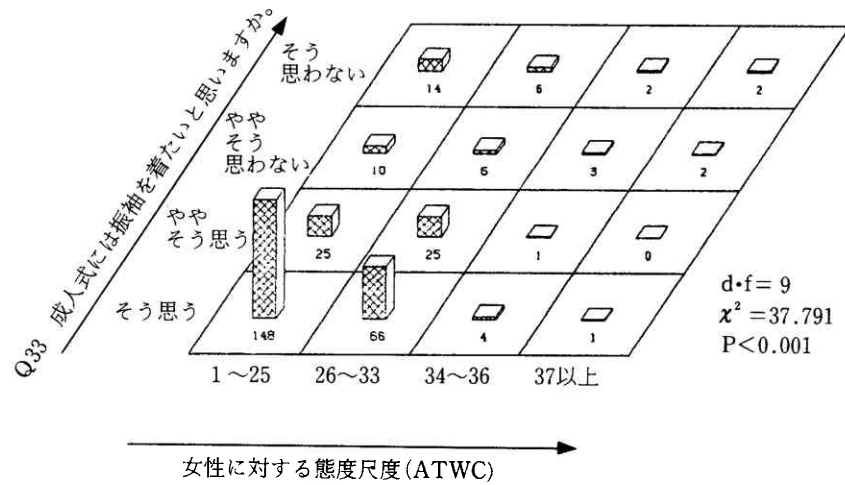


図11 成人式には振袖を着たいと思いますか×女性に対する態度尺度(ATWC)

図によれば、「ATWC」が（1～25点）で「そう思う」者が148人（47.0%）と約半数を占める。なお「そう思う」者が、219人（69.5%）と多い。次に、「ATWC」を軸でみれば、「ATWC」の「1～25点」で「そう思う」者が197人（62.5%）と相当多い。「ISROC」の場合と比べて「ATWC」の方が、低得点者すなわち、伝統を重んじる女性群で成人式にふり袖を着たいと思っているものが多いという結果になった。 χ^2 検定により、両項目には0.1%レベルの高い有意差が認められた。

「ATWC」と項目の「成人式にはあなた振袖よりも個性的な洋服を着たいと思いますか」をクロスさせて、作成したブロック図を図12に示す。

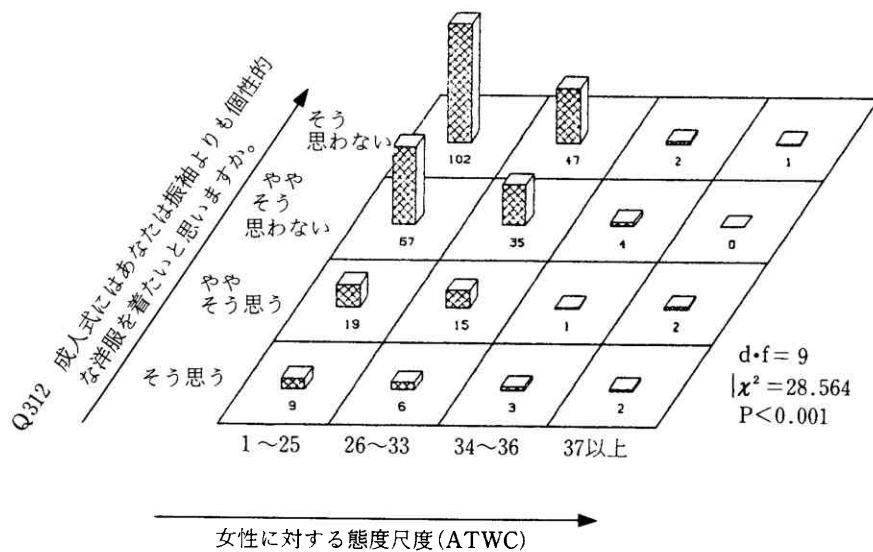


図12 成人式にはあなたは振袖よりも個性的な洋服を着たいと思いますか×女性に対する態度尺度(ATWC)

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

図によれば、「ATWC」が（1～25点）で「そう思わない」者が102人（32.4%）と多く、次いで「ややそう思わない」67人（21.3%）となる。「成人式には振袖よりも個性的な洋服を着たいと思う」との項目で見れば、「そう思わない」152人（48.3%）と「ややそう思わない」106人（33.7%）を合わせると、258人（81.9%）と反対の意見の方が多い。相当保守的、因襲的態度を持っている者が、式典の成人式には、やはり振袖よりも個性的な洋服を着たくないと思っていることがわかる。 χ^2 検定より、両項目間には0.1%の高い有意差が認められた。

「ATWC」と項目「他人や周囲の人達と同じような服装をしている方が気持ちが落ちつく方だと思いませんか」をクロスさせて、作成したブロック図を図13に示す。

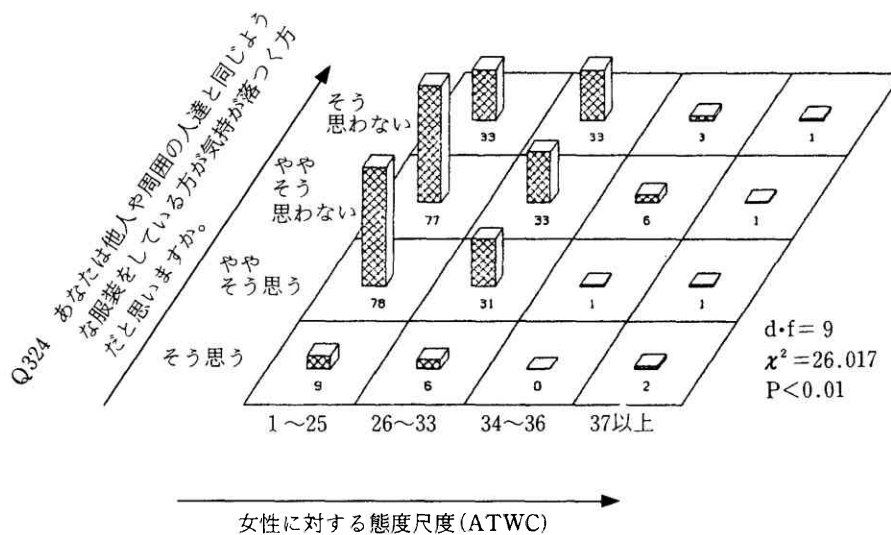


図13 あなたは他人や周囲の人達と同じような服装をしている方が×女性に対する態度尺度(ATWC)気持ちが落ちつく方だと思いませんか。

図によれば、「ATWC」が（1～25点）で「ややそう思う」者が78人（24.5%）と多く、「ややそう思われな」者も77人（24.4%）である。反対意見の「ややそう思わない」117人（37.1%）と「そう思わない」70人（22.2%）を合すると187人（59.4%）と半数以上となっている。服装によって、自己を表現しようとする人が半数以上いるということであろうか。 χ^2 検定により、両項目間には1%レベルの有意差が認められた。

3. 4 被服に対する意識と行動調査の項目間のクロス集計

「あなたはTPOに合わせて適切な衣服を選んでいらっしゃいますか」と「短大1年生・短大2年生」をクロスさせて作成したブロック図を図14に示す。

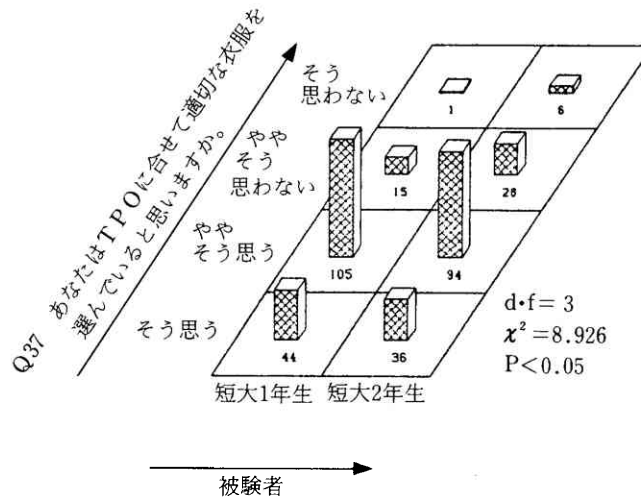


図14 あなたはTPOに合わせて適切な衣服を選んでいると思いますか×被験者

図によれば、「あなたはTPOに合わせて適切な衣服を選んでいると思いますか」という項目に対して、着ていると思うと回答した者は2年生よりも1年生の方がわずかながら多かった。しかし、「そう思わない」という比率は2年生中では28人（17.4%）であるのに対して、1年生中では15人（9.3%）となっており、この比率の差が「あなたはTPOに合わせて適切な衣服を選んでいると思いますか」と「短大1年生・短大2年生」間の意識行動での5%レベルの有意差となってあらわれていると思われる。

「あなたは服装によって性的魅力を発揮出来ると思いますか」と「あなたは男性の目を意識して衣服を着ていると思いますか」をクロスさせて、作成したブロック図を図15に示す。

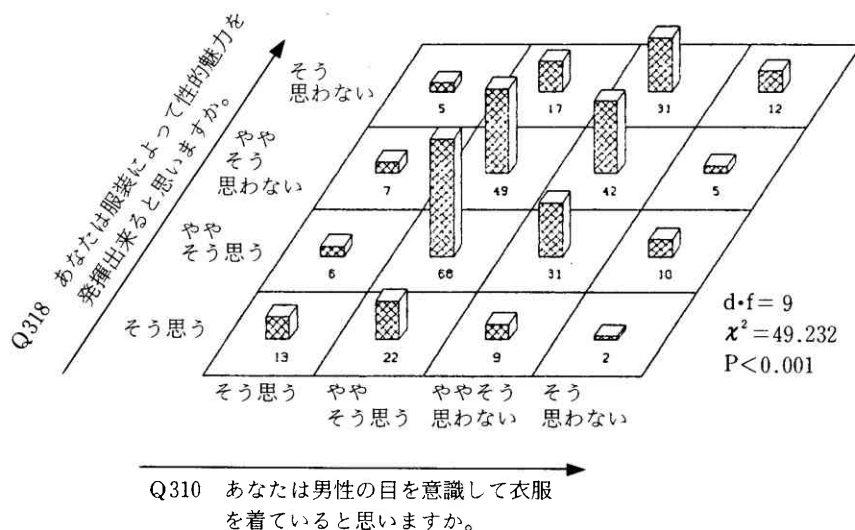


図15 あなたは服装によって性的魅力を発揮出来ると思いますか × あなたは男性の目を意識して衣服を着ていると思いますか。

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

服装によって性的魅力を発揮でき、かつそれは男性の目を意識しているか否かの設問では、109人（33.4%）が肯定し、90人（27.3%）の者が否定と回答した。この項目については、意見が二分化されている。つまり服装によって性的魅力を発揮でき、かつ男性の目を意識しているというグループと、その意見に対する否定的なグループが有在していることがわかる。 χ^2 検定では両項目間には0.1レベルでの高い有意差が認められた。

「あなたは服装によって性的魅力を発揮出来ると思いますか」と「あなたは女性の目を意識して衣服を着ていると思いますか」をクロスさせて作成したブロック図を図16に示す。

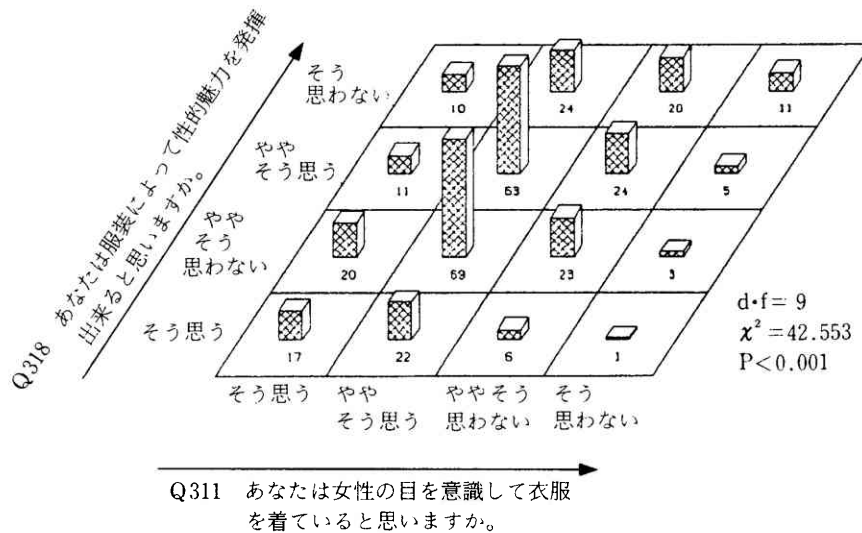


図16 あなたは服装によって性的魅力を発揮出来ると思いますか。 × あなたは女性の目を意識して衣服を着ていると思いますか。

服装によって性的魅力を発揮でき、かつそれは、女性の目を意識しながら着ているとの組合せでは、128人（38.9%）の者が肯定し、108人（32.8%）の者が否定的な回答をした。この結果より、女性の目を気にしているグループでは、服装によって性的魅力を感じる者と、感じない者とが二分されている。 χ^2 検定で両項目間には、0.1%レベルでの高い有意差を認められた。

「着てみたいふり袖」と「あなたは少し高価でもデザイン品質のよいものを選んで着たいと思いますか」とのクロスさせて、作成したブロック図を図17に示す。

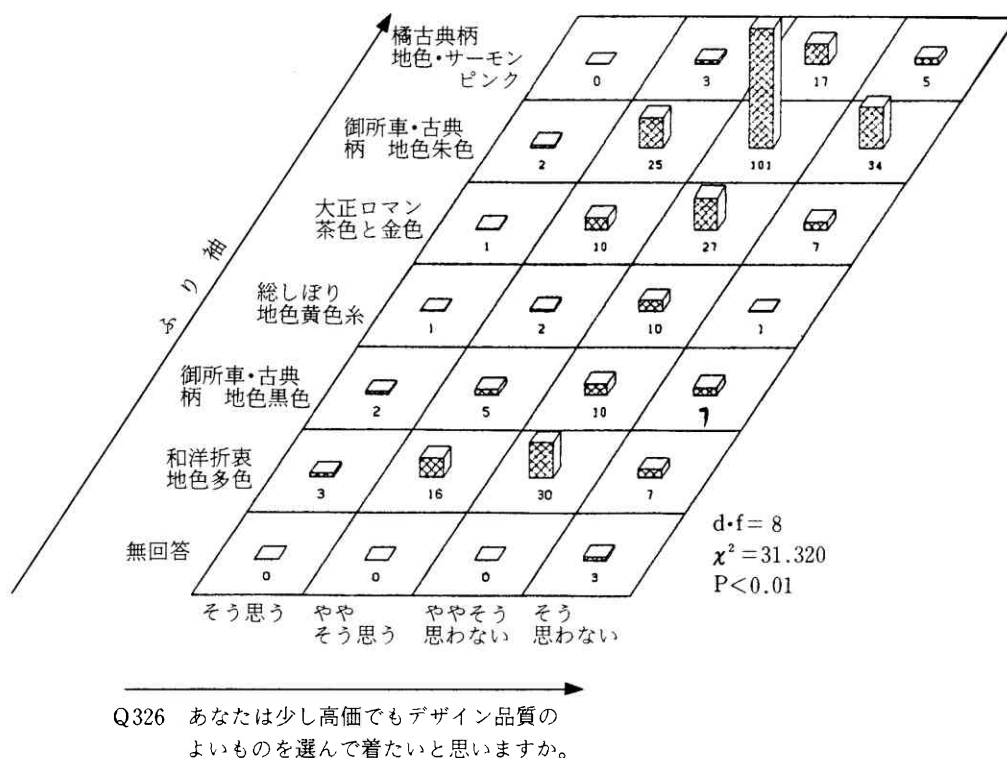


図17 フリ袖×あなたは少し高価でもデザイン品質のよいものを選んで着たいと思いますか。

着てみたいフリ袖では、「御所車の古典柄で地色は朱色で金色をあしらっている」という項目に対して、「あなたは少し高価でもデザイン品質のよいものを選んで着ていますか」という設問に対しては101人（30.1%）の者が否定的な反応を示している。次に、少し高価でもデザインや品質のよいものを選好するか否かを軸に見てみると、その意見に対する否定的グループは259人（78.2%）となっている。すなわち、若年層は値段やデザインや品質などによってフリ袖を選択するという傾向は否定され、値段やデザインや品質にかかわらず、フリ袖を選好されていることが本調査結果より明らかになった。 χ^2 検定では両項目間には、1%レベルで有意な差が認められた。

3. 5 ATWとISROの心理スケールとの相関係数

心理調査スケールの各項目とATWやISROの総合点との相関係数を算出した結果を表14に示す。

ATWと項目Q125「社会の知的な主導権は男性」、Q16「キャリア女性にとって、出産や育児は障害であってはならない」、Q124「女性がブルドーザを運転したり、男性が編物するのが、ばかげたこと」、Q112「重要な仕事抱えていても、女性はいるべき場所は家庭である」Q121「女性の権利を主張するより、よい妻・よい母であるべき」Q11「女性の管理

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

は「家庭・男性の管理は国家の管理運営」、Q17「妻が料理や掃除・夫は金を稼いでくるべき」との間には、極めて高い正の相関が認められた。またATWと項目Q118「女性が家庭外で活動している場合は、男性も家事を分担すべき」の間には負の相関が認められた。さらにISROと各項目Q17「妻が料理や掃除・夫は金を稼いでくるべき」、Q112「重要な仕事抱えていても、女性はいるべき場所は家庭である」、Q111「キャリア女性になるよりも、育児と家事は自分の仕事」、Q19「女性は家にいて、子供の世話をしているのが幸福」、Q11「女性の管理は家庭・男性の管理は国家の管理運営」、Q121「女性の権利を主張するより、よい妻・よい母であるべき」、Q125「社会の知的な主導権は男性」との間には、極めて高い正の相関が認められた。ISROと項目Q113「夫は家庭内の雑用をして、妻が家計をまかなう」の間には負の相関が認められた。両テストと無相関となった設問項目は、Q16「キャリア女性にとって、出産や育児が障害となつてはいけない」のみであった。次にATWとISROテストとの関連について検討する。例えば、Q11「女性の管理は家庭・男性の管理は国家の管理運営」とATWは0.523、Q11「女性の管理は家庭・男性の管理は国家の管理運営」とISROは0.5877と値をとっている。

このような各項目とATWやISROの相関係数値は近い値を取る組合せが多くみられる。このことは、ATW調査法とISRO調査法の本調査項目間での類似性を示唆しているといえる。たとえばQ11とATW、Q11とISROとの相関係数の差があるか否かを検定するには、次のような統計的処理が必要である。¹⁶⁾

いま、2組の独立な標本相関係数 r_1 、 r_2 が得られたとき、それぞれの標本の母集団の相関係数 ρ_1 、 ρ_2 が等しいか否かの検定について考える。ここで帰無仮説は ρ_1 、 ρ_2 である。

いま、2組の標本の大きさをそれぞれ n_1 、 n_2 とする $z = \frac{1}{2} \log_e \frac{1+r}{1-r} = 1.1513 \log_{10} \frac{1+r}{1-r}$ とおくと n_1 、 n_2 が十分大きければ ($n_1 \geq 50$ 、 $n_2 \geq 50$)

$$t = \frac{z_1 - z_2}{\sqrt{\frac{1}{n_1 - 3} + \frac{1}{n_2 - 3}}} \quad \text{————— (1) は近似的に0のまわりで標準偏差1の正規分布をする。}$$

したがって、もし、有意水準を α にとるならば、 α に応ずる t の値、 $t\alpha$ を正規分布表から求め(1)式から得られた t と比較して、もし、

$|t| > t_2$ ならば $\rho_1 = \rho_2$ の仮説を棄却できるが

$|t| \leq t_2$ ならば $\rho_1 = \rho_2$ の仮説を棄却できない。

このように算出したATWの総得点と各ISROに関する設問項目、ISRO総得点と各ISROに関する設問項目との相関係数の間には有意差が認められず(両相関係数は等しい)このことから、両テストと設問項目間の相関係数間には共通性が認められ、本稿では両テストを採用したが、ISROは性役割志向性尺度、ATWは女性に対する態度尺度という異なった心理テスト法でありながら、本調査の質問項目間に対しては、両テストとも相関係数に有意差は認

大手前女子学園（大手前女短大研集）「研究集録」第8号（1988年）

められなかった。このことは、いづれか一方のテストを実施することによって、当該被服行動との関連性のある程度表現できるのではないか、という示唆が得られた。なお、ATWとISRO総得点の相関係数は0.739と相当高く、ATWとISROの個人総得点を心理的側面からカテゴリ化した両者間のクレマーV係数（Cramer's V Coefficient）は0.493であった。被服行動の設問項目とATW・ISROテスト間で無相関と判定された項目はQ16「キャリア女性にとって、出産や育児が障害となつてはいけない」のみであった。

表14 ATWとISROの心理スケールの相関係数

アイテム	ATW	ISRO	アイテム	ATW	ISRO	アイテム	ATW	ISRO
Q11	0.52369 0.0001 315	0.58770 0.0001 328	Q112	0.56005 0.0001 315	0.67678 0.0001 328	Q123	0.42792 0.0001 315	0.27957 0.0001 328
Q12	0.22314 0.0001 315	0.32325 0.0001 328	Q113	-0.47371 0.0001 315	-0.54828 0.0001 328	Q124	0.56858 0.0001 315	0.37345 0.0001 328
Q13	0.11829 0.0359 315	0.37125 0.0001 328	Q114	-0.29122 0.0001 315	-0.29672 0.0001 328	Q125	0.65487 0.0001 315	0.50365 0.0001 328
Q14	-0.20892 0.0002 315	-0.28196 0.0001 328	Q115	0.38421 0.0001 315	0.44632 0.0001 328	Q126	-0.48380 0.0001 315	-0.27518 0.0001 328
Q15	0.32271 0.0001 315	0.44800 0.0001 328	Q116	0.22654 0.0001 315	0.23434 0.0001 328	Q127	-0.20314 0.0003 315	-0.03900 0.4815 328
Q16	0.05836 0.3018 315	-0.03794 0.4936 328	Q117	0.24951 0.0001 315	0.15811 0.0041 328	Q128	0.38495 0.0001 315	0.29703 0.0001 328
Q17	0.50660 0.0001 315	0.67838 0.0001 328	Q118	-0.52404 0.0001 315	-0.48531 0.0001 328	Q129	0.31572 0.0001 315	0.20927 0.0001 328
Q18	-0.31404 0.0001 315	-0.37751 0.0001 328	Q119	-0.45257 0.0001 315	-0.37807 0.0001 328	Q130	-0.48526 0.0001 315	-0.37922 0.0001 328
Q19	0.40385 0.0001 315	0.60129 0.0001 328	Q120	-0.40607 0.0001 315	-0.21168 0.0001 328	Q131	0.42602 0.0001 315	0.31643 0.0001 328
Q110	-0.22798 0.0001 315	-0.37627 0.0001 328	Q121	0.55462 0.0001 315	0.56271 0.0001 328			
Q111	0.47847 0.0001 315	0.66385 0.0001 328	Q122	-0.49939 0.0001 315	-0.39074 0.0001 328			

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

4 まとめ

単純集計の性役割志向性尺度 (ISRO) においては男女平等に仕事をするキャリア・ウーマンになって、仕事と育児を両立させたいと思う者が多いが、伝統的な考え方の者も約半数みられた。

単純集計の女性に対する態度尺度 (ATW) においては男女平等意識が強いが、現実もわきまえて、ちゃっかりした一面を持つのが、本学学生の姿であった。

性役割志向性尺度 (ISRO) の得点化については、本学学生の156人が伝統的な性役割志向性であり、その内31人が、極めて伝統的で古風な考え方の持主であった。また、フェミニスト女性も、31人という少なさであった。

女性に対する態度尺度 (ATW) については本学学生では、かなり革新的な平等観を持つニュー・フェミニズム思想の持主は非常に少なくわずか15人であり、大部分が保守的で、古風な考え方をもっている結果となった。

以上の性役割志向性尺度 (ISRO) と女性に対する態度尺度 (ATW) の両者の調査結果から、本学学生ではフェミニスト女性は非常に少なく、大部分が伝統的、因襲的、古風であることがわかった。

被服に対する意識と行動についての単純集計の結果では、マズローの要求5段階説¹⁸⁾によれば、『現在わが国の実際の女性の服装をみると、生理要求と安全要求はほとんどの場合満たされている』と報告されているが、本調査でも「夏は涼しく冬は暖かく」や「衣服の汚れに対する反応」および、「素材の選択」という項目でも高比率を占め、マズローの要求5段階説と同傾向の結果が検証できた。つぎに、愛情・所属要求、例えば「TPOに合わせて衣服を着用する」や「他人の目を気にして衣服を着用する」という項目についても、ほとんど満たされている。つづいて、尊重要求「成人式にふり袖を着用」や「高価でもよい服を選択」および、「ブランド志向」、「お正月で私服を着用」の項目において、この場合もかなり高率で満たされている。自己実現要求、例えば、「個性的な衣服を着用」や「服装は自己表現の手段」の項目において満たされていない結果となった。

被服の流行については、着心地、経済性とも依然として重視しながらも、流行には遅れないような関心を示している。これらの結果から本学学生は、衣生活において堅実に過していることがわかる。

着て見たいスタイルにおいては、ドレスシーが高比率で選好されたが、これは今回抽出したサンプル写真が、時代の流行にあったボディーコンシャスのためではなかろうかと思われる。

着て見たいふり袖としては、もっとも多くの人が色・柄ともに伝統的感覚で古典的なものを選んでいく。しかし一方では、和洋折衷風でハイヒールを履いているニュー着物を着用したいと希望している者も17%占めている。反面、復古調の大正ロマン風の着物をも選

好されていることがわかった。先進的なニュー着物と伝統的・復古調という両極のスタイルに選好グループの多数を占めていることは、被験者が若年層（短期大学生）ということを考え併せると興味ある結果である。

クロス表分析結果では

「性役割志向性尺度の得点（ISROC）」と「女性に対する態度尺度の得点（ATWC）」の組合せの場合、両者ともかなり低得点者が多く、本学学生は男女の平等観や、政治的、経済的、社会的平等観が低く、伝統的で保守的な考えの持主といえよう。

「ISROC」と「被服に対する意識と行動」の有意差のある項目の組合せでは、かなり伝統的性役割志向性を持つ本学学生では、習慣や慣例により行動が規定されている傾向が調査結果で明らかになった。

つまり

- ・成人式にはふり袖を着たいと思っている者が多い。
- ・成人式にはふり袖よりも個性的な洋服を着たいと思っていないものが多い。
- ・個性的な服を着ない方であると思っている者が多い。
- ・服装により性的魅力を発揮できないと約半数の者が思っている。
- ・かなり女性の目を意識して衣服を着ていると思っている者が多い。
- ・自分によく似合う服を上手に着こなしていると思う者が半数以上である。
- ・多くの者は、着るものにこだわらない方がよいと思っていない。
- ・一番着てみたいスタイルとして「ドレッシー」を選んだ者が多い。

「ATWC」と「被服に対する意識と行動」の有意差のある項目の組合せでは、かなり保守的・因襲的態度をもつ本学学生では、次のようなISROCと同傾向の結果となった。

- ・成人式には振袖を着たいと思う者が多い。
- ・成人式には振袖よりも、個性的な洋服を着たいと思っていない者が多い。
- ・他人や周囲の人達と同じ服装をしている方が、気持が落ちつく方だとは思っていない者が多い。

以上のように、「ISROC」および「ATWC」の低得点者、つまり、伝統的な女性は、服装においてもかなり伝統的で保守的な態度であるといえよう。

1・2年生ともTPOに合わせて衣服を着用しているが、わずかながら1年の方が着用率が上回っていると回答している。それは、本学学生は服飾科であるために、TPOに対する理解度の違いによるものと考えられる。

男性の目を意識して被服を着ているものは、被服によって性的魅力を発揮出来ると思っ
ている。反対の場合も同様であり、2分化されているのがわかる。

女性の目を意識して被服を着ているものの半数は、被服により性的魅力を発揮できると
思っているが、半数の者は思っていないようである。

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

ふり袖を選択する場合については、値段やデザインや品質にはこだわらず、選好されていることがわかった。従来、ふり袖の素材は絹に限られており、大変高価である。しかし、最近、素材面の開発により、絹のような光沢や風合を持つ化学繊維による和服製品が多く出まわっている。今回の調査でも若年層（被験者）にこれらの製品が支持される傾向が得られ、昨今のいわゆる「和服離れ」の現状を変える大きな要因として注目すべき現象である。

謝 辞

本研究を行うに当たり、発表の機会を与えていただきました福井秀加学長に深謝いたします。

また、貴重な資料をご提供くださり、種々の御助言を賜りました早稲田大学東 清和教授に謹んでお礼を申し上げます。

さらに、分析に当たり、御助言を賜りました京都大学大型計算機センター高井孝之氏に厚く御礼を申し上げます。

調査に御協力いただきました大手前女子短期大学服飾学科の学生皆様にも感謝の意を表します。

〔引用文献〕

- 1) 東清和・小倉千加子：性役割の心理、大日本図書（1984）
- 2) 東・小倉：前掲書
- 3) 東・小倉：前掲書
- 4) Can Can、小学館（1988）
- 5) 美しいキモノ（留袖と振袖）、婦人画報社（1987）
- 6) 東・小倉：前掲書
- 7) 東・小倉：前掲書
- 8) 東・小倉：前掲書
- 9) 東・小倉：前掲書
- 10) 笹山益子他：女性の食生活と衣生活における消費実態と意識、大手前女子短期大学研究集録（1986）
- 11) 笹山：前掲書
- 12) 笹山：前掲書
- 13) 朝日新聞、1984. 1. 5 朝刊
- 14) 笹山：前掲書
- 15) 東・小倉：前掲書
- 16) 肥田野直他：心理教育統計学、pp139～pp148、培風館（1961）
- 17) 東・小倉：前掲書
- 18) 馬場房子：「女性の消費者行動」日本コンサルタント・グループ p 34（1979）

付 調 査 表

（ アンケート I ）

下に示した文章は、社会における女性の役割に対する態度をあらわしています。別にどれが正しく、どれが間違っているというのではなく、いわば単なる見解です。あなたは「A」非常に賛成・「B」やや賛成・「C」どちらでもない・「D」やや反対・「E」非常に反対のうち、自分の気持ちにあてはまると思うものに○印をつけて下さい。

	非常に 賛 成	や や 賛 成	ど ち ら な も い	や や 反 対	非常に 反 対
1. 女性は家庭の管理にあたるべきであり、国家の管理運営は男性に任せておくべきだ。	A	B	C	D	E
2. 女性がキャリアを求めるならば、大方の女性は子どもを持つべきではない。	A	B	C	D	E
3. 母親が働いていると、就学前の児童には害のおよぶことがある。	A	B	C	D	E
4. 仕事を持つということは、自分自身の人生を生きているということだ。	A	B	C	D	E
5. 子どもを産むことが女性の証である。	A	B	C	D	E
6. キャリアを求める女性にとって、出産や育児がその障害となることがあってはならない。	A	B	C	D	E
7. 特別なケースを除き、妻が料理や掃除をやり、夫が家族のために金を稼いでくるべきだ。	A	B	C	D	E
8. 女性にも男性と全く等しい雇用の機会が与えられるべきである。	A	B	C	D	E
9. 女性は家において、子どもの世話をしている方がずっと幸福である。	A	B	C	D	E
10. 働く母親でも、働いていない母親と全く同じように、子どもとの間にあたたかな安定した関係を確立することはできる。	A	B	C	D	E
11. 女性は自分のキャリアを考えるよりも、まず育児と家事を自分の仕事であると心得るべきである。	A	B	C	D	E
12. 重要な仕事を数々抱えていても、やはり女性の本来いるべき場所は家庭なのである。	A	B	C	D	E
13. 私は、夫が家庭内の雑用をうけもち、妻が家計をまかなってもいいと思う。	A	B	C	D	E
14. 男でも女でも、同じ仕事に対しては同じ賃金（報酬）が支払われるべきだ。	A	B	C	D	E
15. 私は、妻に働かせて自分は家で子どもの世話をするような男性を尊敬することはできない。	A	B	C	D	E
16. 肉体的な重労働が女性に向かないように、精神的、感情的特質ゆえに女性に向かない仕事もいろいろあるということを、女性自身が自覚すべきである。	A	B	C	D	E

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

	非常に 賛成	やや 賛成	やや 反対	非常に 反対
17. 女性が下品な言葉を使った場合、男性がそれを使うよりも聞き苦しい。	A	B	C	D
18. 女性が家庭外で活動している現代の経済状態のもとでは、男性も皿洗いや洗濯のような家事を分担すべきである。	A	B	C	D
19. 結婚式で「あなたは、夫に従いますか…」という一節があるのは女性にとって侮辱的なことである。	A	B	C	D
20. 結婚の申し込は女性からも自由にしてよいはずだ。	A	B	C	D
21. 女性は女性としての権利を主張するより、よい妻、よい母になることを重んじるべきである。	A	B	C	D
22. 女性は事業においても、また全ての職業においても、男性と同様にその実力にあった地位を得るべきである。	A	B	C	D
23. 女性は男性が行く歓楽街などへ行こうと思っはならない。また男性と同じように自由気ままな行動をとってよい、と思っはならない。	A	B	C	D
24. 女性がブルドーザーを運転したり、男性が編物をするのは、ばかげたことである。	A	B	C	D
25. 社会における知的な主導権は大部分、男性の手にあるべきである。	A	B	C	D
26. 熟練を要する仕事の門戸は女性にも平等に開かれるべきである。	A	B	C	D
27. 多く稼いでいる女性はデートの時、等しく出費を負うべきである。	A	B	C	D
28. 家族の中で息子は娘より大学に行く事を奨励されるべきである。	A	B	C	D
29. 一般的に父親は育児に際して母親より大きな権威を持つべきである。	A	B	C	D
30. 男性によってこれまでつくられてきた「女らしさ」の考えを受け入れるよりも、女性にとっては経済的、社会的自由がはるかに重要である。	A	B	C	D
31. 雇用・昇進の際、女性より男性が選ばなければならない仕事は多々ある。	A	B	C	D

（アンケートⅡ）

Q1 あなたは、次のどれにあてはまりますか。あてはまる所に○印をつけて下さい。

1. 短大1年生 2. 短大2年生

Q2 あなたは、次の文のそれぞれに対して、自分の気持にあてはまると思うものを○印をつけて下さい。

	そう 思う	やや そう思う	やや ややそう 思わない	そう 思わない
①あなたは自分によく似合う服を上手に着こなしていると思 いますか。	1.	2.	3.	4.
②慶弔の式には伝統的な民族衣装である和服を着たいと思 いますか。	1.	2.	3.	4.
③成人式には振袖を着たいと思いますか。	1.	2.	3.	4.
④人間は服装よりも自分自身が大切だから、着るものにこだ わらない方が良いと思いますか。	1.	2.	3.	4.
⑤あなたは他人と同じような服装をするのが嫌いで、個性 的な服を着る方であると思いますか。	1.	2.	3.	4.
⑥あなたは有名ブランドの服を着たいと思いますか。	1.	2.	3.	4.
⑦あなたはTPOに合わせて適切な衣服を選んでいると思 いますか。	1.	2.	3.	4.
⑧あなたは服を購入するとき洗たくしやすい素材を主に選 んでいると思いますか。	1.	2.	3.	4.
⑨あなたは衣服が汚れたらすぐに洗って着ていると思 いますか。	1.	2.	3.	4.
⑩あなたは男性の目を意識して衣服を着ていると思 いますか。	1.	2.	3.	4.
⑪あなたは女性の目を意識して衣服を着ていると思 いますか。	1.	2.	3.	4.
⑫成人式にはあなたは振袖よりも個性的な洋服を着 たいと思いますか。	1.	2.	3.	4.
⑬あなたは夏祭には浴衣を着たいと思いますか。	1.	2.	3.	4.
⑭あなたは高級な毛皮を着ている人はお金持ちだと思 いますか。	1.	2.	3.	4.
⑮あなたはブランド商品の方が高価だと思 いますか。	1.	2.	3.	4.
⑯あなたは衣服を購入する場合流行にとらわれず、素 材が天然繊維の服（綿・麻・絹・毛）を主に選んで いると思いますか。	1.	2.	3.	4.
⑰あなたは夏は涼しく、冬は暖かくというように、実 用性を重んじる方だと思 いますか。	1.	2.	3.	4.
⑱あなたは服装によって性的魅力を発揮出来ると思 いますか。	1.	2.	3.	4.
⑲あなたは自分の服装に対して他人がどう思 っているか気にする方であると思 いますか。	1.	2.	3.	4.
⑳あなたは服装は自己表現の有力な手段であると思 いますか。	1.	2.	3.	4.
㉑あなたはどちらかと云えば華やかな服装が好 きな方であると思 いますか。	1.	2.	3.	4.
㉒あなたはお正月には着物を着たいと思 いますか。	1.	2.	3.	4.

性格調査との関連からみた本学学生の被服に対する意識と行動について

- | | そう
思う | や や
そう思う | ややそう
思わない | そ う
思わない |
|---|----------|-------------|--------------|-------------|
| ⑳あなたはどちらかと云うと目立たない地味な服装が好き
な方であると思いますか。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ㉑あなたは他人や周囲の人達と同じような服装をしてい
る方が気持ちが落ちつく方だと思いますか。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ㉒あなたは少し高価でもデザイン品質のよいものを選ん
で着たいと思いますか。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ㉓あなたは流行は人よりすぐに取り入れる方であるとおも
いますか。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ㉔あなたは自分も流行に遅れないようにする方であると思
いますか。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ㉕あなたは流行に関心はあるが洋服の着心地や経済性およ
び好みを考えてから取り入れる方であると思いますか。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ㉖あなたは流行は追わない方であると思いますか。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
- Q 3 ①あなたが着てみたいと思うスタイルを図1～3の中から1つを選んで、その番号を()の中に書いて下さい。
- ・一番着てみたいスタイル()
- ②あなたが着てみたいと思うふり袖を、サンプル1～6の中から1つを選んで、番号を()の中に書いて下さい。
- ・一番着てみたいふり袖()
- ③あなたが着てみたいと思うふり袖を選んだ理由1つを選んで番号に○をつけて下さい。
1. 全体の色の調和が好ましいから選んだ。 2. 着物が洋服感覚で現代的だから選んだ。
3. 豪華だから選んだ。 4. 昔からある柄、和服向き模様なので選んだ。
5. ()
- ご協力有難とうござ居ました